

東芝デジタル複合機

設定ガイド[印刷編]

GA-1190J

- このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
- お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は必ず保管してください。

はじめに

このたびは、東芝デジタル複合機 e-STUDIO165/205またはe-STUDIO167/207をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この**設定ガイド【印刷編】**は、以下のオプションを装着したe-STUDIO165/205またはe-STUDIO167/207用の取扱説明書です。

- ネットワークプリンタユニット

この**設定ガイド【印刷編】**では、以下について説明しています。

- 本機の操作パネルから行う、印刷関係の各種の設定
- TopAccessを使った、コンピュータからの本機の設定および管理

上記オプションを装着したe-STUDIO165/205またはe-STUDIO167/207をご使用になる前に、本書をよくお読みください。また、本書をお手元に置いて、大切に保管してください。

使用許諾契約書

この契約は、お客様と東芝テック株式会社(以下「東芝テック」という)および／または東芝テックのサプライヤー(以下「サプライヤー」という)との間の契約です。ソフトウェアパッケージを開封するか或いはソフトウェアの使用を開始する事をもってお客様はこの契約に同意したことになります。契約条項を承認できない場合は、速やかにソフトウェアパッケージ及びマニュアル等の付属品をご返送ください。

ソフトウェアならびに印刷物(マニュアルなどの文書)の著作権を含む知的財産権その他権利は「東芝テック」(東京都品川区東五反田2丁目17番2号)および／または「サプライヤー」が保有しております。

1.定義

"ソフトウェア"とはプリンタドライバソフトウェア、TWINドライバソフトウェアおよび本製品と一緒に提供されるCDに含まれるソフトウェアをいいます。

"指定機器"とは、お客様がソフトウェアと共に購入した本製品を言います。

2.使用許諾

お客様は、指定機器の各種機能を動作させる目的にのみソフトウェアを使用することができません。

お客様はソフトウェアを貸与またはリースすることはできません。

お客様は、本契約条項に明示されている場合を除き、ソフトウェアを使用、複製、修正、逆コンパイル、逆アセンブル又はその他いかなる方法によってもソフトウェアを変更することはできません。

前号の規程にかかわらず、お客様はバックアップ用としてソフトウェアを一部複製することができます。尚、複製物に含まれる著作権表示について、修正、削除等は行うことができません。

お客様は、ソフトウェアに付随するマニュアル及びその他印刷物を複製できません。

3.期間

お客様は、「東芝テック」および／または「サプライヤー」に対し文書にて通知することにより、いつでもこの契約を解約することができます。また、お客様がこの契約の条項に違反した場合には、この契約は自動的に解除されます。いずれの場合も、お客様には、「東芝テック」および／または「サプライヤー」からの連絡内容に従って、ソフトウェア及びそのバックアップを破棄もしくは返却していただきます。

4.保障

①「東芝テック」および／または「サプライヤー」は、お客様が、ソフトウェアと共に 本製品を購入した日から90日以内は、ソフトウェアが記録されている媒体が通常の使用においては、材質、製造上、もしくは記録上の欠陥がないことを保証します。

②「東芝テック」および／または「サプライヤー」は、ソフトウェアに含まれる機能がお客様の要件を満たしていること及びソフトウェアの動作が常に欠陥のない状態であることを保証するものではありません。

③「東芝テック」および／または「サプライヤー」は、本項目上記①の保証以外はいかなる場合においても、明示又黙示の保証や表明をせず、一切責任を負いません。ソフトウェアに関し、第三者の権利の不侵害および、商品適合性またはある特定の使用目的への適合性を含み、またこれに限定せず、いかなる黙示の保証も否認されます。

④「東芝テック」および／または「サプライヤー」は、ソフトウェアの使用または使用不能から発生する直接、間接、特別、偶発的または付随的障害につき、かかる損害を含み、またこれに限定せず、いかなる損害に対する補償を一切いたしません。

5.一般事項

お客様は、ソフトウェアについて、第三者に使用权を設定し、または譲渡することはできません。お客様は、本契約をお読みになり、上記の条項を承認したことをご確認されたものとし、さらに本契約は、ソフトウェアに関する唯一完全な契約であり、かつ、本契約はお客様が本契約の主要事項に関連して受け取ったいかなる情報にも優先することに同意されたものとし、

本契約は日本国の法律あるいは、「サプライヤー」の選択により、本契約により生じた紛争及び本契約に関連する紛争に関して、関連する「サプライヤー」の指定した国の法律に準拠するものとします。

本書をお読みになる前に

取扱説明書の構成

e-STUDIO165/205またはe-STUDIO167/207の取扱説明書は、以下のように構成されています。目的に応じて適切な取扱説明書をお読みください。なお、本書は**設定ガイド[印刷編]**です。

基本機能

取扱説明書[コピー編](冊子)

コピー機能を中心に、本機の基本的な使いかたを説明しています。また、必ず守っていただきたい安全上のご注意も記載しています。本機を使用する前に必ずお読みください。

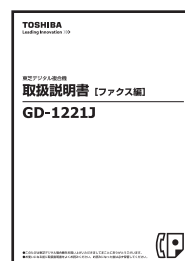


ファクス機能

ファクス機能を使用するためには、オプションのファクスキットGD-1221Jが必要です。

取扱説明書[ファクス編](冊子)

ファクス機能の使いかたを説明しています。ファクスの送信/受信に関して、基本的なものから応用的なものまで、あらゆる機能を使用することができます。

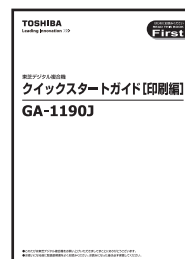


印刷機能

印刷機能を使用するためには、オプションのネットワークプリンタユニットGA-1190Jが必要です。

クイックスタートガイド[印刷編](冊子)

GA-1190Jの付属品、必要な環境条件、ネットワークの接続概要など、印刷機能に関する基本的なことを説明しています。また、トラブルシューティングについても記載しています。印刷機能を使用する前に必ずお読みください。



ネットワーク管理ガイド[印刷編](PDFファイル)

ネットワークの接続、各コンポーネントの設定など、ネットワークを構築して印刷機能を使用するために必要なことを説明しています。

設定ガイド[印刷編](PDFファイル、本書です)

本書は、以下のような2部編成になっています。

本体編： 本機の操作パネルによる印刷関連の設定方法について説明しています。

TopAccess編： 付属ユーティリティ「TopAccess」の使いかたを説明しています。Webブラウザを利用して本機の設定や管理を行うことができます。

印刷ガイド(PDFファイル)

クライアントソフトウェアのインストール、プリンタドライバの使いかたなど、コンピュータから本機へ印刷するために必要なことを説明しています。

ネットワークファクスガイド(PDFファイル)

クライアントソフトウェアのインストール、N/W-Faxドライバの使いかた、付属アプリケーションソフトウェア「AddressBook Viewer」の使いかたなど、コンピュータからネットワークを経由してファクス送信するために必要なことを説明しています。

スキャン機能

スキャン機能を使用するためには、オプションのスキャナアップグレードキットGA-1200Jが必要です。

クイックスタートガイド[スキャン編](PDFファイル)

GA-1200Jの付属品、必要な環境条件、ネットワークの接続概要など、スキャン機能に関する基本的なことを説明しています。また、トラブルシューティングについても記載しています。スキャン機能を使用する前に必ずお読みください。

ネットワーク管理ガイド[スキャン編](PDFファイル)

ネットワークの接続、各コンポーネントの設定など、ネットワークを構築してスキャン機能を使用するために必要なことを説明しています。

設定ガイド[スキャン編](PDFファイル)

本書は、以下のような2部編成になっています。

本体編： 本機の操作パネルによるスキャン関連の設定方法について説明しています。

TopAccess編： 付属ユーティリティ「TopAccess」の使いかたを説明しています。Webブラウザを利用して本機の設定や管理を行うことができます。

スキャンガイド(PDFファイル)

TWAINドライバのインストールや使いかた、各種スキャン機能の使いかたなど、本機でスキャン機能を使用するために必要なことを説明しています。

PDFファイル形式の取扱説明書を読むには

PDF(Portable Document Format)ファイル形式の取扱説明書は、コンピュータにインストールされたAdobe ReaderまたはAdobe Acrobat Readerにより表示/印刷することができます。お使いになるコンピュータにAdobe ReaderまたはAdobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードするなどして、あらかじめインストールしておいてください。

本書の読みかた

本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

注 意 操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。

補 足 操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。

 関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

商標について

- Windows 98の正式名称は、Microsoft Windows 98 Operating Systemです。
- Windows Meの正式名称は、Microsoft Windows Me Operating Systemです。
- Windows 2000の正式名称は、Microsoft Windows 2000 Operating Systemです。
- Windows XPの正式名称は、Microsoft Windows XP Operating Systemです。
- Windows Server 2003の正式名称は、Microsoft Windows Server 2003 Operating Systemです。
- Windows Vistaの正式名称は、Microsoft Windows Vista Operating Systemです。
- Microsoft、Windows、Windows NT、またはその他のマイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、AppleTalk、Macintosh、Mac、Mac OS、Safari、TrueTypeおよびLaserWriterは、米国Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader、Adobe Acrobat Reader およびPostScriptは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
- Mozilla、Firefox、Firefoxロゴは、米国Mozilla Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Netscapeは、Netscape Communications Corporationの商標です。
- IBM、ATおよびAIXは、International Business Machines Corporationの商標です。
- NOVELL、NetWare、NDSは米国NOVELL, Inc.の商標または登録商標です。
- TopAccessは、東芝テック株式会社の登録商標です。
- その他、本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。

©2007, 2008 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved

本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複写、複製を禁じます。本書中の情報の使用については特許に関する法的責任は生じないものとします。

目次

はじめに.....	1
使用許諾契約書.....	2
本書をお読みになる前に	4

第1章 概要

概要.....	12
本書の構成.....	12
TopAccessの使用環境	14

第2章 画面の基本操作(本体)

画面の種類.....	16
画面の基本操作.....	18
モードメイン画面を選択するには.....	18
メニューを選択するには	19
数値を入力するには	20

第3章 印刷の中止とフォントリスト印刷(本体)

印刷ジョブをキャンセルするには	22
PCL/PSフォントリストを印刷するには.....	23
PCLフォントリスト/PSフォントリスト.....	23

第4章 リスト印刷(本体)

各種のリストを印刷するには	26
設定リスト.....	26
ネットワーク設定リスト	27

第5章 ネットワーク設定(本体)

本機から行うネットワーク設定について	30
ETHERNETの設定.....	31
TCP/IPの設定.....	33
IPX/SPXの設定	38
AppleTalkの設定	40
HTTPの設定.....	42

第6章 TopAccessを起動するには

TopAccess機能の概要	46
ユーザモード	46
管理者モード	47
コンピュータ上でTopAccessを起動する	48
TopAccessを起動する	48
TopAccessの画面構成	53

第7章 TopAccessの装置タブページ

TopAccessの装置タブページ	56
--------------------------------	-----------

第8章 TopAccessの登録タブページ

アドレス帳を管理する	60
アドレス帳の宛先を管理する	60
アドレス帳のグループを管理する	65
メールボックスを管理する	68
メールボックスを開設する	69
メールボックスを削除する	76

第9章 TopAccessのカウンタタブページ

カウンタを表示する	80
トータルカウンタを表示する	80
部門カウンタを表示する	81

第10章 TopAccessの管理者タブページ-セットアップメニュー(プリンタ機能)

装置設定をセットアップする	85
装置情報の設定	87
各種タイマの設定	88
日付と時間の設定	88
WEB設定	88
ネットワーク設定をセットアップする(プリンタ機能)	89
TCP/IPの設定	91
IPX/SPXの設定	92
AppleTalkの設定	93
Bonjourの設定	93
DNSの設定	94
DDNSの設定	95
NetWareの設定	96
HTTPの設定	96

SNMPの設定.....	97
コピー設定をセットアップする.....	99
コピー設定.....	100
ファクス設定をセットアップする.....	102
ファクス設定.....	104
プリンタ設定をセットアップする.....	109
一般設定.....	110
Raw印刷ジョブ印刷初期値設定.....	111
Raw印刷ジョブ設定.....	112
プリントサービス設定をセットアップする(プリンタ機能).....	115
Raw TCP印刷の設定.....	117
LPD印刷の設定.....	117
IPP印刷の設定.....	118
NetWare印刷の設定.....	119
バージョン情報を表示する.....	120

第11章 TopAccessの管理者タブページ-保守メニュー

保守機能について.....	122
言語を切り替える.....	123
データをバックアップする.....	125
バックアップファイルからデータを復元する.....	128
アドレス帳をインポートする.....	131
アドレス帳をエクスポートする.....	134
部門コードデータをインポートする.....	136
部門コードをエクスポートする.....	139

第12章 TopAccessによる部門コード管理(管理者用)

部門コードを管理する(管理者用).....	142
-----------------------	-----

第13章 トラブルシューティング

TopAccessのエラーメッセージ.....	144
アイコン一覧.....	144
メッセージ一覧.....	146

第14章 付録

リスト印刷.....	148
------------	-----

索引.....	153
---------	-----

概要

本章では、本書の構成とTopAccessの使用環境について説明します。

概要	12
本書の構成	12
TopAccessの使用環境.....	14

概要

本書の構成

本書は、以下の2つの部分から構成されています。

- 本機の操作パネルによる印刷関係の設定
- TopAccessによる本機の印刷関係の設定と管理

本機の操作パネルによる印刷関係の設定

本書の前半では、本機の操作パネルの[プリンタ]および[設定/登録]ボタンから行う、印刷関係の設定やリストの印刷方法について説明しています。

次の各章を参照してください。

第2章	画面の基本操作(本体) 本機の操作パネルから行う、基本的な画面操作について説明しています。 📖 P.15「画面の基本操作(本体)」
第3章	印刷の中止とフォントリスト印刷(本体) 本機の操作パネルから行う、印刷ジョブの中止方法とフォントリストの印刷方法について説明しています。 📖 P.21「印刷の中止とフォントリスト印刷(本体)」
第4章	リスト印刷(本体) 本機の操作パネルから行う、印刷関係のリスト印刷方法について説明しています。 📖 P.25「リスト印刷(本体)」
第5章	ネットワーク設定(本体) 本機の操作パネルから行う、ネットワークの設定方法について説明しています。 📖 P.29「ネットワーク設定(本体)」

TopAccessによる本機の印刷関係の設定と管理

本書の後半では、付属ユーティリティのTopAccessを使用し、ネットワークを介してお使いのコンピュータから本機を設定/管理する方法について説明しています。TopAccessにはユーザーレベルと管理者レベルの2つのアクセスレベルがあり、管理者レベルでは、TopAccessのすべての設定機能およびメンテナンス機能にアクセスできます。

以下の本機の機能が説明の対象となっています。

- TopAccessから設定/管理する印刷機能
- TopAccessから設定/管理するファクス機能(オプションのファクスキット装着時)

次の各章を参照してください。

第6章	TopAccessを起動するには TopAccessの機能概要と起動方法について説明しています。 📖 P.45「TopAccessを起動するには」
第7章	TopAccessの装置タブページ TopAccessの装置タブページに表示される装置の情報の見方について説明しています。 📖 P.55「TopAccessの装置タブページ」

第8章	TopAccessの登録タブページ TopAccessの登録タブページでの、アドレス帳管理およびメールボックスの管理について説明しています。 📖 P.59「TopAccessの登録タブページ」
第9章	TopAccessのカウンタタブページ TopAccessのカウンタタブページでトータルカウンタを表示する方法について説明しています。 📖 P.79「TopAccessのカウンタタブページ」
第10章	TopAccessの管理者タブページ-セットアップメニュー TopAccessの管理者が行う各種のセットアップについて説明しています。 📖 P.83「TopAccessの管理者タブページ- セットアップメニュー(プリンタ機能)」
第11章	TopAccessの管理者タブページ-保守メニュー TopAccessの管理者が行う、TopAccessの保守機能について説明しています。 📖 P.121「TopAccessの管理者タブページ- 保守メニュー」
第12章	TopAccessによる部門コード管理(管理者用) 管理者が行う、部門管理について説明しています。 📖 P.141「TopAccessによる部門コード管理 (管理者用)」

補 足

- トラブルシューティングについては、以下の章を参照してください。
📖 P.143「トラブルシューティング」
- 本機から印刷する印刷関係のリスト印刷例については、以下の章を参照してください。
📖 P.147「付録」

TopAccessの使用環境

付属ユーティリティであるTopAccessの使用環境について説明します。以下の環境を準備すれば、Webブラウザを利用してTopAccessへアクセスすることが可能となり、ネットワーク上のコンピュータから本機の設定や管理を行うことができます。

ネットワーク

TopAccessを使用するためには、本機をネットワークへ接続し、本機側の操作によりTCP/IP設定およびHTTP設定を行っておく必要があります。詳細は、以下の取扱説明書を参照してください。

- クイックスタートガイド[印刷編]

3章「コンピュータとの接続」

☞「ネットワーク接続」

- 設定ガイド[印刷編] (本書)

5章「ネットワーク設定(本体)」

☞ P.33「TCP/IPの設定」

☞ P.42「HTTPの設定」

Webブラウザ

TopAccessは、Windows/Macintosh/UNIXの各プラットフォームにて、以下のWebブラウザをサポートしています。

Windows: Microsoft Internet Explorer 5.5 SP2 以上

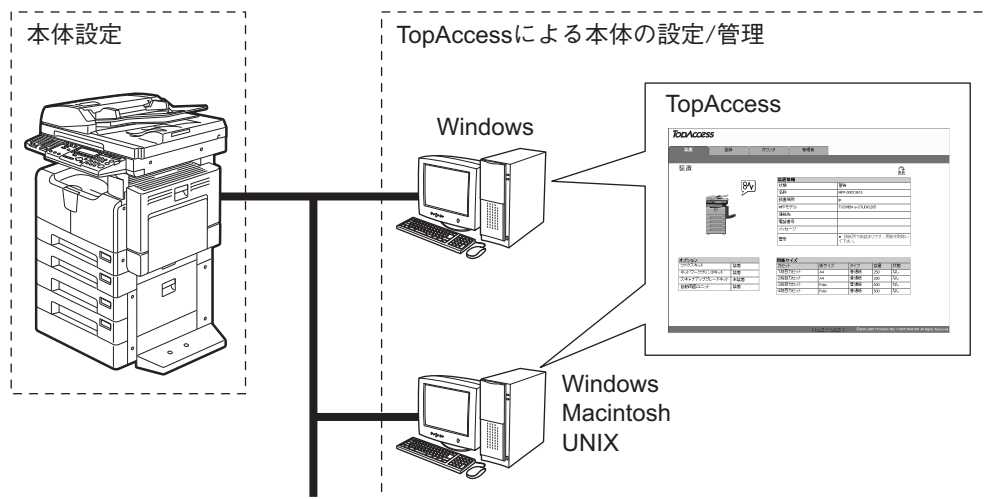
Mozilla Firefox 1.5.0.4 以上

Macintosh: Safari 2.0 (412.2) 以上

Mozilla Firefox 1.5.0.4 以上

UNIX: Mozilla Firefox 1.5.0.4 以上

本体の設定とTopAccessによる本体の設定／管理の概念図：



画面の基本操作(本体)

本章では、本機の操作パネルから行う、基本的な画面操作について説明します。

画面の種類	16
画面の基本操作	18
モードメイン画面を選択するには	18
メニューを選択するには.....	19
数値を入力するには	20

画面の種類

本機の液晶画面に表示される、主な画面の種類を以下に示します。

レディ画面(「コピーモード」メイン画面)

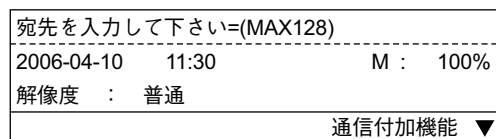
電源投入数十秒後に表示されます。コピー機能を使用できます。

[コピー]ボタンを押して、他のモードからコピーモードを選択したときにも表示されます。



補 足

レディ画面がファクス用に設定されている場合は、電源投入後に以下の画面が表示されます。ファクス用レディ画面(「ファクスモード」メイン画面)：



モードメイン画面

「コピーモード」メイン画面、「プリンタモード」メイン画面、「設定/登録モード」メイン画面および「ファクスモード」メイン画面があります。メイン画面には、選択できるメニューなどが表示されます。

印刷関係のモードメイン画面の選択操作は、以下のページを参照してください。

📖 P.18 「モードメイン画面を選択するには」

「プリンタモード」メイン画面例：



メニュー選択画面


メニューや項目を選択するときに表示される画面です。メニュー名称とサブメニューまたは項目が表示されます。

「実行/戻る」選択画面例：

印刷ジョブの削除	
1.実行	▲
2.戻る	▼


数値入力画面

数値を入力する必要があるときに表示される画面です。テンキーで数値を入力します。

部門コードの設定	
部門番号を選択してください（1-99）	
	2 

エラーメッセージ表示画面

エラー発生状態などを表示する画面です。

	カセット1に用紙がありません
	カセット1を開けて
	用紙を補給して下さい

画面の基本操作

モードメイン画面を選択するには

電源投入後に表示されるレディ画面でモードボタン([プリンタ]または[設定/登録])を押すと、それぞれのモードのメイン画面に入ります。

レディ画面(「コピーモード」メイン画面)

コピーできます		1
100%	ノンソート	
拡大・縮小	仕上げ	画像編集

[プリンタ]ボタン

「プリンタモード」メイン画面

プリンタ
1.印刷ジョブの削除 ▲
2.PCLフォントリスト
3.PSフォントリスト ▼

[設定/登録]ボタン

「設定/登録モード」メイン画面

設定/登録	123	1216
01.各種設定 ▲		
02.リスト出力		
03.環境設定 ▼		

補 足

レディ画面がファクス用に設定されている場合は、レディ画面として「ファクスモード」メイン画面が表示されます。

【設定/登録】ボタンと画面遷移:

- コピーメニューまたはプリンタメニュー操作中に[設定/登録]ボタンを押すと、「設定/登録」モードメイン画面に移行します。
- 設定/登録メニュー操作中に[設定/登録]ボタンを押すと、以前に選択されていたメイン画面(レディ画面(「コピーモード」メイン画面または「プリンタモード」メイン画面))に戻ります。また、「設定/登録」モードメイン画面が表示されているときに[戻る/取消]ボタンを押した場合も、以前に選択されていたメイン画面に戻ります。

【プリンタ】ボタンと画面遷移:

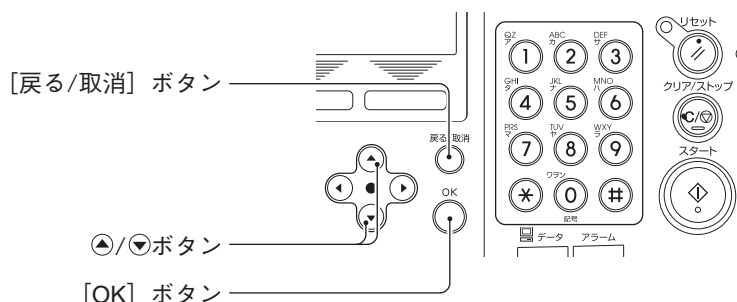
各メニュー操作中に[プリンタ]ボタンを押すと、「プリンタモード」メイン画面に移ります。たとえば、設定/登録メニュー操作中に[プリンタ]ボタンを押すと、「プリンタモード」メイン画面に移行します。

各モードメイン画面に戻るには:

メニュー操作中に[リセット]ボタンを押すと、現在のモードのメイン画面に戻ります。

メニューを選択するには

メニューや項目の選択画面で、目的のメニューや項目を選択します。



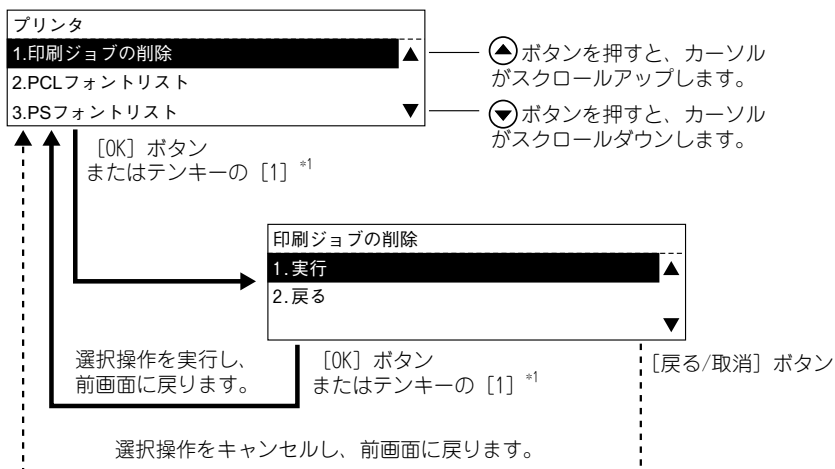
ボタン	機 能
▲/▼	メニューや項目を選択します。選択したメニューや項目にカーソルが移動し、表示が反転します。 ▲を押すとカーソルがスクロールアップし、▼を押すとスクロールダウンします。
[OK]	メニューや項目の選択を実行します。
[戻る/取消]	選択操作をキャンセルします。画面は、前画面に戻ります。 (何度かこのボタンを押すと、現在選択中のモードのメイン画面に戻ります。)

注 意

メニュー表示内容は、オプションキットやオプション機器の装着状態で変わります。本書中のメニュー選択画面に表示されていても、オプションが装着されていない場合は、表示されないメニューがあります。

メニュー選択例

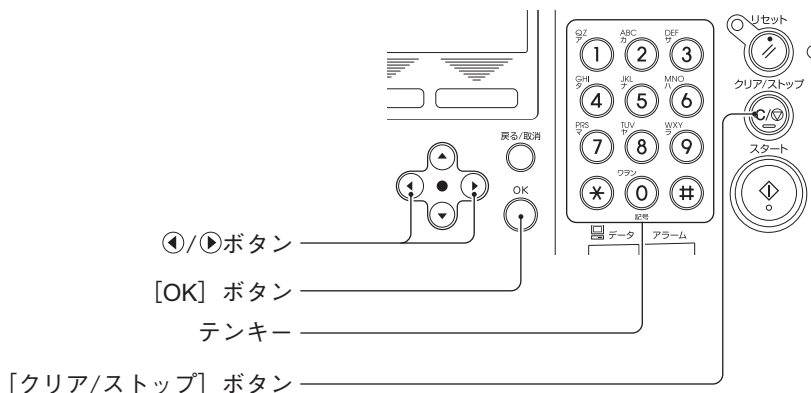
「プリンタモード」メイン画面で、印刷ジョブをキャンセルする場合のメニュー選択操作の流れを以下に示します。



- *1 本機では、各メニューに一連の番号を付けています。メニュー先頭に表示された1桁または2桁の番号(例:「01」、「1」)をテンキーで入力することにより、直接そのメニューを選択することができます。(▲/▼ボタンと[OK]ボタンの一連操作を、数値入力力で代用します。)たとえば、階層の深い特定のメニューでも、一連の数値を入力して選択することが可能です。

数値を入力するには

数値は、テンキーを使用して入力します。



ボタン	機 能
テンキー	数値入力画面でテンキーを押すと、数値が入力されます。
[OK]	入力した数値を確定します。
④/⑤	カーソルを左右に移動します。 ④を押すとカーソルが左に移動し、⑤を押すと右に移動します。訂正したい桁にカーソルを移動してテンキーで入力すると、数値が書き換えられます。
[クリア/ストップ]	入力した数値を、一括クリアします。

印刷の中止とフォントリスト印刷 (本体)

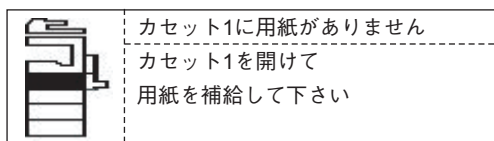
本章では、本機の操作パネルから行う、印刷ジョブの中止方法とフォントリストの印刷方法について説明します。

印刷ジョブをキャンセルするには	22
PCL/PSフォントリストを印刷するには.....	23
PCLフォントリスト/PSフォントリスト	23

印刷ジョブをキャンセルするには

[プリンタ]ボタンを使用して、印刷中のジョブをキャンセルすることができます。印刷ジョブのキャンセルは、通常、次のいずれかの場合に実行します。

- 印刷中のジョブを途中で破棄したい場合
 - 印刷中に用紙切れが発生したときに、残りの印刷ジョブを破棄したい場合
- 用紙切れが発生したときは、以下のようなメッセージが画面に表示されます。



注意

印刷ジョブのキャンセル操作は、本機が印刷動作中のみ有効です。印刷動作中でないときにジョブキャンセル操作をすると「現在は設定できません」と表示されます。

1 レディ画面で、[プリンタ]ボタンを押します。

「プリンタモード」メイン画面が表示されます。

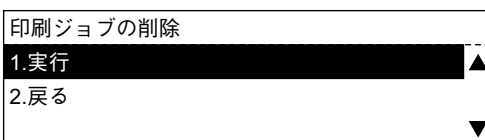


2 ▲/▼を押して「印刷ジョブの削除」を選択し、[OK] ボタンを押します。



3 ▲/▼を押して「実行」を選択し、[OK] ボタンを押します。

印刷ジョブがキャンセルされ、「受け付けました」と表示されます。表示は手順2の「プリンタモード」メイン画面に戻ります。



PCL/PSフォントリストを印刷するには

[プリンタ]ボタンを使用して、以下のフォントリストを印刷することができます。

- PCLフォントリスト
- PSフォントリスト

注意

リストはA4またはA4-Rサイズの下紙に印刷されます。それらの下紙サイズが設定されていることを確認し、下紙切れの際には給紙してください。

補足

印刷される各フォントリストについては、以下のページを参照してください。

📖 P.148「リスト印刷」

PCLフォントリスト/PSフォントリスト

印刷時に使用する、内蔵PCLフォントとPSフォントのリストを印刷します。

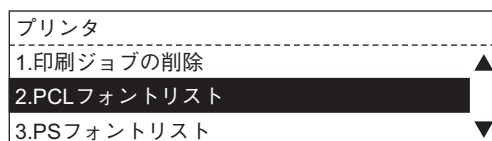
1 レディ画面で、[プリンタ]ボタンを押します。

「プリンタモード」メイン画面が表示されます。



2 ▲/▼を押して「PCLフォントリスト」または「PSフォントリスト」を選択し、[OK]ボタンを押します。

「PCLフォントリストを出力しています」または「PSフォントリストを出力しています」と表示され、選択した内蔵フォントリストが印刷されます。表示は手順2の「プリンタモード」メイン画面に戻ります。



リスト印刷(本体)

本章では、本機の操作パネルから行う、印刷関係のリスト印刷方法について説明します。

各種のリストを印刷するには	26
設定リスト	26
ネットワーク設定リスト.....	27

各種のリストを印刷するには

[設定/登録]ボタンを使用して、以下の印刷関係のリストを印刷することができます。

- 設定リスト
- ネットワーク設定リスト

注 意

リストはA4またはA4-Rサイズの下紙に印刷されます。それらの下紙サイズが設定されていることを確認し、下紙切れの際には給紙してください。

補 足

- 印刷される各リストについては、以下のページを参照してください。
P.148「リスト印刷」
- システム設定リストを印刷することにより、印刷関係の設定内容を知ることができます。リスト印刷方法は**取扱説明書【コピー編】**を参照してください。
- メニューリストを印刷することにより、印刷関係のメニューリストを知ることができます。リスト印刷方法は**取扱説明書【コピー編】**を参照してください。

設定リスト

オプションのネットワークプリンタユニットの設定状態を印刷します。

補 足

プリンタ機能に関する設定項目の詳細は、以下の取扱説明書を参照してください。

クイックスタートガイド【印刷編】

5章「付録」

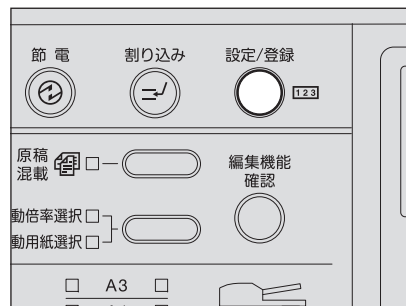
初期設定リスト

「ネットワーク設定(NETWORK SETTING)」

「プリントサービス設定(PRINT SERVICE SETTING)」

1 レディ画面で、[設定/登録] ボタンを押します。

「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。



2 ▲/▼を押して「リスト出力」を選択し、[OK]ボタンを押します。



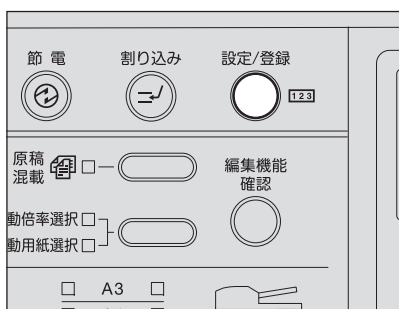
- 3** ▲/▼を押して「設定リスト」を選択し、[OK]ボタンを押します
「設定リストを出力しています」と表示され、設定リストが印刷されます。

リスト出力	
4.メールボックスリスト	▲
5.設定リスト	
6.ネットワーク設定リスト	▼

ネットワーク設定リスト

オプションのネットワークプリンタユニットのNIC(Network Interface Card)の設定状態を印刷します。

- 1** レディ画面で、[設定/登録]ボタンを押します。
「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。



- 2** ▲/▼を押して「リスト出力」を選択し、[OK]ボタンを押します。

設定／登録	123	1216
01.各種設定		▲
02.リスト出力		
03.環境設定		▼

- 3** ▲/▼を押して「ネットワーク設定リスト」を選択し、[OK]ボタンを押します
「ネットワーク設定リストを出力しています」と表示され、ネットワーク設定リストが印刷されます。

リスト出力	
4.メールボックスリスト	▲
5.設定リスト	
6.ネットワーク設定リスト	▼

ネットワーク設定(本体)

本章では、本体の操作パネルから行う、ネットワークの設定方法について説明します。

本機から行うネットワーク設定について	30
ETHERNETの設定	31
TCP/IPの設定	33
IPX/SPXの設定	38
AppleTalkの設定	40
HTTPの設定	42

本機から行うネットワーク設定について

[設定/登録]ボタンを使用して、以下のネットワーク設定を行うことができます。

📖 P.31 「ETHERNETの設定」

📖 P.33 「TCP/IPの設定」

📖 P.38 「IPX/SPXの設定」

📖 P.40 「AppleTalkの設定」

📖 P.42 「HTTPの設定」

TopAccessを使用するには：

WebベースユーティリティであるTopAccessを使用するには、使用に先立って本機でTCP/IPとHTTPの設定を行っておく必要があります。

📖 P.33 「TCP/IPの設定」

📖 P.42 「HTTPの設定」

TCP/IPとHTTPを設定すると、お使いのコンピュータでTopAccessが使用できます。いったんTopAccessが使用できるようになれば、TCP/IPとHTTPの再設定も含め、ここで説明するすべてのネットワーク設定がTopAccessから可能になります。TopAccessを利用したネットワーク設定については以下のページを参照してください。

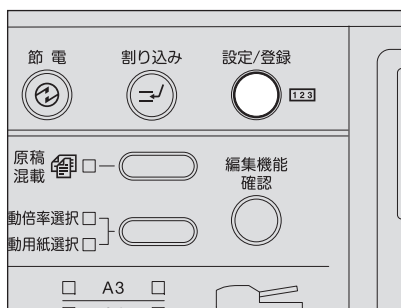
📖 P.89 「ネットワーク設定をセットアップする(プリンタ機能)」

ETHERNETの設定

ETHERNETの速度と通信方式を設定します。

1 レディ画面で、[設定/登録] ボタンを押します。

「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。



2 ▲/▼を押して「環境設定」を選択し、[OK] ボタンを押します。

設定／登録	123	1216
01.各種設定		▲
02.リスト出力		
03.環境設定		▼

3 ▲/▼を押して「ネットワーク」を選択し、[OK] ボタンを押します。

環境設定	
04.自局名	▲
05.ダイヤルイン	
06.ネットワーク	▼

4 ▲/▼を押して「ETHERNET」を選択し、[OK] ボタンを押します。

ネットワーク	
01.確定	▲
02.ETHERNET	
03.TCP/IP	▼

5 ▲/▼を押して「通信速度／通信方法」を選択し、[OK] ボタンを押します。

ETHERNET	
01.通信速度／通信方式	▲
	▼

6 ▲/▼を押して目的の速度と通信方式を選択します。

通信速度／通信方式	
1.自動	▲
2.10BASE/半二重	
3.10BASE/全二重	▼

通信速度／通信方式	
3.10BASE/全二重	▲
4.100BASE/半二重	
5.100BASE/全二重	▼

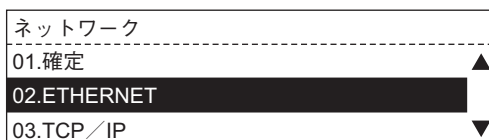
- 自動 : 自動的にETHERNETの速度を検知します。
- 10BASE/半二重 : 10BASEで半二重通信を行う場合に選択します。
- 10BASE/全二重 : 10BASEで全二重通信を行う場合に選択します。
- 100BASE/半二重 : 100BASEで半二重通信を行う場合に選択します。
- 100BASE/全二重 : 100BASEで全二重通信を行う場合に選択します。

注 意

- ・「自動」以外を選択する場合は、接続しているネットワークの仕様に合わせてください。
- ・リンク速度/通信方式が分からない場合は、「自動」を選択してください。

7 [OK]ボタンを押します。

表示は手順5の画面に戻ります。

8 [戻る/取消] ボタンを1回押して、ネットワークメニューに戻します。**注 意**

[戻る/取消] ボタンを押しすぎて、ネットワークメニューを抜けてしまった場合は、次のネットワーク設定の確定手順が無効になってしまいます。この場合は、手順1から再度操作を行ってください。

9 ▲/▼を押して「確定」を選択し、[OK]ボタンを押します。

初期化が実行され、「初期化中」と表示されます。初期化が完了すると「操作完了しました」と表示され、手順3の画面に戻ります。

**10 [戻る/取消] ボタンを押すか、[リセット] ボタンを押して「設定/登録モード」メイン画面に戻します。****注 意**

上記の設定を行ってもネットワークの接続が不安定な場合は、一度電源をOff/Onしてください。

TCP/IPの設定

TCP/IPプロトコルの設定を行います。TCP/IPの設定では、アドレス設定方法の選択、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの割り付け(手動で割り付ける場合)などを設定します。

注意

- ご利用のネットワークの環境によって、TCP/IPプロトコルの設定方法は異なります。
- WebベースユーティリティであるTopAccessを使用するには、使用に先立って本機でTCP/IPとHTTPの設定を行う必要があります。HTTPの設定は以下のページを参照してください。
📖 P.42「HTTPの設定」

DHCPまたはAutoIPでTCP/IP設定する場合：

本機に割り付けるTCP/IP設定方法が分からない場合は、アドレス設定方法で「自動」を選択します。アドレス設定方法で「自動」を選択すると、ネットワークがDHCPをサポートしている場合は、DHCPサーバーから本機のIPアドレス、サブネットマスクおよびゲートウェイを取得します。ネットワークがDHCPをサポートしていない場合は、AutoIP機能により適当なIPアドレスが本機に割り付けられます。

DHCPのみを使用してTCP/IP設定する場合：

DHCPサーバーがあるローカルエリアネットワークに接続し、AutoIP機能を使用せずDHCPのみを使用して本機のTCP/IPを設定したい場合は、アドレス設定方法で「自動IPなし」を選択します。アドレス設定方法で「自動IPなし」を選択すると、DHCPサーバーから本機のIPアドレス、サブネットマスクおよびゲートウェイを取得し、AutoIPによるIPアドレスの自動割り付けは無効にします。

固定IPアドレスを使用するローカルエリアネットワークに接続する場合：

本機を固定のIPアドレスを使用するローカルエリアネットワークに接続する場合は、アドレス設定方法で、「マニュアル」を選択し、手動でIPアドレスを指定します。必要に応じてサブネットマスク、デフォルトゲートウェイも設定します。

IPアドレスの自動取得

1 レディ画面で、[設定/登録] ボタンを押します。

「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。



- 2 ▲/▼を押して「環境設定」を選択し、[OK] ボタンを押します。

設定／登録	123	1216
01.各種設定		▲
02.リスト出力		
03.環境設定		▼

- 3 ▲/▼を押して「ネットワーク」を選択し、[OK] ボタンを押します。

環境設定	
04.自局名	▲
05.ダイヤルイン	
06.ネットワーク	▼

- 4 ▲/▼を押して「TCP/IP」を選択し、[OK] ボタンを押します。

ネットワーク	
01.確定	▲
02.ETHERNET	
03.TCP/IP	▼

- 5 ▲/▼を押して「アドレス設定方法」を選択し、[OK] ボタンを押します。

TCP/IP	
01.アドレス設定方法	▲
02.IPアドレス	
03.サブネットマスク	▼

- 6 ▲/▼を押してIPアドレスの自動取得方法を選択します。

アドレス設定方法	
1.マニュアル	▲
2.自動	
3.自動IPなし	▼

自動： Auto-IPおよびDHCPにより、自動的にIPアドレスを取得します。

自動IPなし： DHCPにより、自動的にIPアドレスを取得します。

- 7 [OK] ボタンを押します。

表示は手順5の画面に戻ります。

- 8 [戻る/取消] ボタンを1回押して、ネットワークメニューに戻します。

ネットワーク	
01.確定	▲
02.ETHERNET	
03.TCP/IP	▼

注 意

[戻る/取消] ボタンを押しすぎて、ネットワークメニューを抜けてしまった場合は、次のネットワーク設定の確定手順が無効になってしまいます。この場合は、手順1から再度操作を行ってください。

- 9 ▲/▼を押して「確定」を選択し、[OK]ボタンを押します。

初期化が実行され、「初期化中」と表示されます。初期化が完了すると「操作完了しました」と表示され、手順3の画面に戻ります。

ネットワーク	
01.確定	▲
02.ETHERNET	
03.TCP/IP	▼

- 10 [戻る/取消]ボタンを押すか、[リセット]ボタンを押して「設定/登録モード」メイン画面に戻します。

補 足

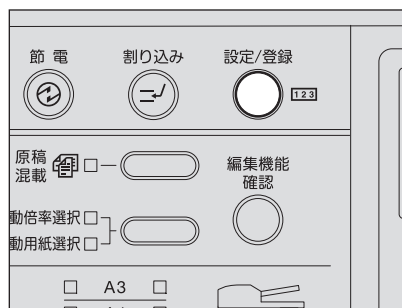
ネットワーク設定リストを印刷して、設定状態および自動取得した値を確認することができます。

📖 P.27「ネットワーク設定リスト」

IPアドレスの手動設定

- 1 レディ画面で、[設定/登録]ボタンを押します。

「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。



- 2 ▲/▼を押して「環境設定」を選択し、[OK]ボタンを押します。

設定／登録	123	1216
01.各種設定		▲
02.リスト出力		
03.環境設定		▼

- 3 ▲/▼を押して「ネットワーク」を選択し、[OK]ボタンを押します。

環境設定	
04.自局名	▲
05.ダイヤルライン	
06.ネットワーク	▼

- 4 ▲/▼を押して「TCP/IP」を選択し、[OK]ボタンを押します。

ネットワーク	
01.確定	▲
02.ETHERNET	
03.TCP/IP	▼

- 5 ▲/▼を押して「アドレス設定方法」を選択し、[OK]ボタンを押します。

TCP/IP

01.アドレス設定方法 ▲
02.IPアドレス
03.サブネットマスク ▼

- 6 ▲/▼を押して「マニュアル」を選択し、[OK]ボタンを押します。
表示は手順5の画面に戻ります。

アドレス設定方法

1.マニュアル ▲
2.自動
3.自動IPなし ▼

- 7 ▲/▼を押して「IPアドレス」を選択し、[OK]ボタンを押します。

TCP/IP

01.アドレス設定方法 ▲
02.IPアドレス
03.サブネットマスク ▼

- 8 IPアドレスを入力し、[OK]ボタンを押します。

表示は手順7の画面に戻ります。

IPアドレス

XXX.XXX.XXX.XXX

- 9 ▲/▼を押して「サブネットマスク」を選択し、[OK]ボタンを押します。

TCP/IP

01.アドレス設定方法 ▲
02.IPアドレス
03.サブネットマスク ▼

- 10 必要に応じてサブネットマスク値を入力し、[OK]ボタンを押します。

表示は手順9の画面に戻ります。

サブネットマスク

XXX.XXX.XXX.XXX

- 11 ▲/▼を押して「デフォルトゲートウェイ」を選択し、[OK]ボタンを押します。

TCP/IP

02.IPアドレス ▲
03.サブネットマスク
04.デフォルトゲートウェイ ▼

- 12 必要に応じてデフォルトゲートウェイの値を入力し、[OK]ボタンを押します。

デフォルトゲートウェイ

XXX.XXX.XXX.XXX

- 13** [戻る/取消] ボタンを1回押して、ネットワークメニューに戻します。



注 意

[戻る/取消] ボタンを押しすぎて、ネットワークメニューを抜けてしまった場合は、次のネットワーク設定の確定手順が無効になってしまいます。この場合は、手順1から再度操作を行ってください。

- 14** ▲/▼を押して「確定」を選択し、[OK] ボタンを押します。

初期化が実行され、「初期化中」と表示されます。初期化が完了すると「操作完了しました」と表示され、手順3の画面に戻ります。



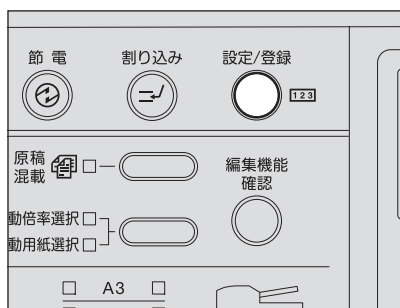
- 15** [戻る/取消] ボタンを押すか、[リセット] ボタンを押して「設定/登録モード」メイン画面に戻します。

IPX/SPXの設定

IPX/SPXプロトコルを設定します。IPX/SPXプロトコルは、通常NetWareのファイルサーバーと通信を行う場合に設定します。

1 レディ画面で、[設定/登録] ボタンを押します。

「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。



2 ▲/▼を押して「環境設定」を選択し、[OK] ボタンを押します。

設定／登録	123	1216
01.各種設定		▲
02.リスト出力		
03.環境設定		▼

3 ▲/▼を押して「ネットワーク」を選択し、[OK] ボタンを押します。

環境設定	
04.自局名	▲
05.ダイヤルイン	
06.ネットワーク	▼

4 ▲/▼を押して「IPX/SPXプロトコル」を選択し、[OK] ボタンを押します。

ネットワーク	
04.IPX／SPXプロトコル	▲
05.Apple talk	
06.HTTP	▼

5 ▲/▼を押して「IPX/SPXプロトコル」を選択し、[OK] ボタンを押します。

IPX／SPXプロトコル	
01.IPX／SPXプロトコル	▲
02.フレームタイプ	▼

6 ▲/▼を押して「有効」を選択し、[OK] ボタンを押します。

表示は手順5の画面に戻ります。

IPX／SPXプロトコル	
1.有効	▲
2.無効	▼

7 ▲/▼を押して「フレームタイプ」を選択し、[OK] ボタンを押します。

IPX／SPXプロトコル	
01.IPX／SPXプロトコル	▲
02.フレームタイプ	▼

8 ▲/▼を押して目的のフレームタイプを選択します。

フレームタイプ
1.自動 ▲
2.IEEE802.2
3.IEEE802.3 ▼

フレームタイプ
3.IEEE802.3 ▲
4.ETHERNET II
5.IEEE802.3 Snap ▼

自動 : 自動的に適切なフレームタイプを検出します。
IEEE802.2 : IEEE802.2に適合するフレームタイプに設定します。
IEEE802.3 : IEEE802.3に適合するフレームタイプに設定します。
Ethernet II : Ethernet IIに適合するフレームタイプに設定します。
IEEE802.3 Snap: IEEE802.2に適合するフレームタイプに設定します。

注意

使用するフレームタイプが分からない場合は、「自動」を選択してください。

9 [OK]ボタンを押します。

表示は手順7の画面に戻ります。

10 [戻る/取消]ボタンを1回押して、ネットワークメニューに戻します。

ネットワーク
04.IPX/SPXプロトコル ▲
05.Apple talk
06.HTTP ▼

注意

[戻る/取消]ボタンを押しすぎて、ネットワークメニューを抜けてしまった場合は、次のネットワーク設定の確定手順が無効になってしまいます。この場合は、手順1から再度操作を行ってください。

11 ▲/▼を押して「確定」を選択し、[OK]ボタンを押します。

ネットワーク
01.確定 ▲
02.ETHERNET
03.TCP/IP ▼

初期化が実行され、「初期化中」と表示されます。初期化が完了すると「操作完了しました」と表示され、手順3の画面に戻ります。

12 [戻る/取消]ボタンを押すか、[リセット]ボタンを押して「設定/登録モード」メイン画面に戻します。

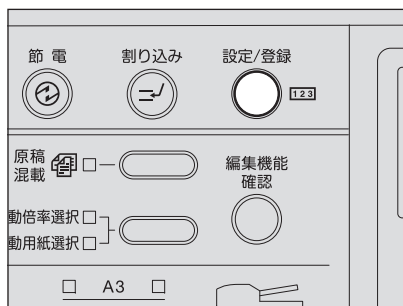
AppleTalkの設定

AppleTalkプロトコルは、MacintoshコンピュータからのAppleTalk印刷を有効にする場合は、必ず有効にします。
必要に応じて、以下のページを参照し、TopAccessで本機のデバイス名およびAppleTalkゾーンの設定を行ってください。

📖 P.93「AppleTalkの設定」

1 レディ画面で、[設定/登録] ボタンを押します。

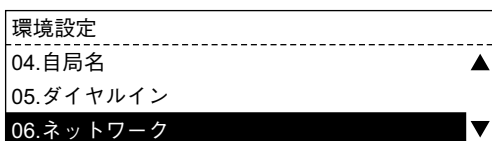
「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。



2 ▲/▼を押して「環境設定」を選択し、[OK] ボタンを押します。



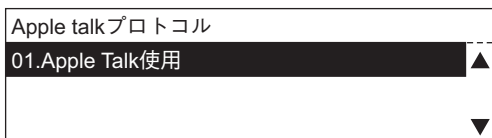
3 ▲/▼を押して「ネットワーク」を選択し、[OK] ボタンを押します。



4 ▲/▼を押して「AppleTalk」を選択し、[OK] ボタンを押します。



5 ▲/▼を押して「AppleTalk使用」を選択し、[OK] ボタンを押します。



6 ▲/▼を押して、AppleTalkを有効にするか(「有効」)無効にするか(「無効」)を選択し、[OK] ボタンを押します。

表示は手順5の画面に戻ります。



- 7 [戻る/取消] ボタンを1回押して、ネットワークメニューに戻します。



注 意

[戻る/取消] ボタンを押しすぎて、ネットワークメニューを抜けてしまった場合は、次のネットワーク設定の確定手順が無効になってしまいます。この場合は、手順1から再度操作を行ってください。

- 8 ▲/▼を押して「確定」を選択し、[OK] ボタンを押します。

初期化が実行され、「初期化中」と表示されます。初期化が完了すると「操作完了しました」と表示され、手順3の画面に戻ります。



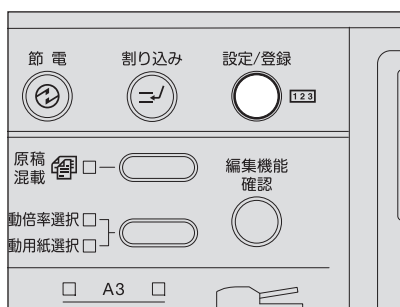
- 9 [戻る/取消] ボタンを押すか、[リセット] ボタンを押して「設定/登録モード」メイン画面に戻します。

HTTPの設定

WebベースユーティリティのTopAccessを利用する場合には、HTTPネットワークサーバーサービスを有効にします。IPP印刷を有効にする場合も、HTTPネットワークサービスを有効にします。

1 レディ画面で、[設定/登録] ボタンを押します。

「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。



2 ▲/▼を押して「環境設定」を選択し、[OK] ボタンを押します。

設定／登録	123	1216
01.各種設定		▲
02.リスト出力		
03.環境設定		▼

3 ▲/▼を押して「ネットワーク」を選択し、[OK] ボタンを押します。

環境設定	
04.自局名	▲
05.ダイヤルイン	
06.ネットワーク	▼

4 ▲/▼を押して「HTTP」を選択し、[OK] ボタンを押します。

ネットワーク	
04.IPX／SPXプロトコル	▲
05.Apple talk	
06.HTTP	▼

5 ▲/▼を押して「HTTPサーバー使用」を選択し、[OK] ボタンを押します。

HTTP	
01.HTTPサーバー使用	▲
02.プライマリポート番号	
03.セカンダリポート番号	▼

6 ▲/▼を押して、HTTPネットワークサーバーを有効にするか(「有効」)無効にするか(「無効」)を選択し、[OK] ボタンを押します。

HTTPサーバー使用	
1.有効	▲
2.無効	▼

表示は手順5の画面に戻ります。

- 7 ▲/▼を押して「プライマリポート番号」を選択し、[OK]ボタンを押します。

HTTP	
01.HTTPサーバー使用	▲
02.プライマリポート番号	
03.セカンダリポート番号	▼

- 8 HTTPにアクセスするときのポート番号を入力し、[OK]ボタンを押します。(通常「80」を使用)

表示は手順7の画面に戻ります。

注意

ポート番号のデフォルト値として「80」が設定されています。ポート番号を変更する場合は、[クリア/ストップ]ボタンを押してから目的の番号を入力してください。

- 9 ▲/▼を押して「セカンダリポート番号」を選択し、[OK]ボタンを押します。

HTTP	
01.HTTPサーバー使用	▲
02.プライマリポート番号	
03.セカンダリポート番号	▼

- 10 TopAccessにアクセスするときのポート番号を入力し、[OK]ボタンを押します。(通常「8080」を使用)

表示は手順9の画面に戻ります。

注意

ポート番号のデフォルト値として「8080」が設定されています。ポート番号を変更する場合は、[クリア/ストップ]ボタンを押してから目的の番号を入力してください。

- 11 [戻る/取消]ボタンを1回押して、ネットワークメニューに戻します。

ネットワーク	
04.IPX/SPXプロトコル	▲
05.Apple talk	
06.HTTP	▼

注意

[戻る/取消]ボタンを押しすぎて、ネットワークメニューを抜けてしまった場合は、次のネットワーク設定の確定手順が無効になってしまいます。この場合は、手順1から再度操作を行ってください。

12 ▲/▼を押して「確定」を選択し、 [OK]ボタンを押します。

初期化が実行され、「初期化中」と表示されます。初期化が完了すると「操作完了しました」と表示され、手順3の画面に戻ります。



13 [戻る/取消] ボタンを押すか、[リセット] ボタンを押して「設定/登録モード」メイン画面に戻します。

TopAccessを起動するには

本章では、TopAccessの機能概要と起動方法について説明します。

TopAccess機能の概要	46
ユーザモード	46
管理者モード	47
コンピュータ上でTopAccessを起動する	48
TopAccessを起動する	48
TopAccessの画面構成	53

TopAccess機能の概要

TopAccessのアクセスレベルにはユーザレベルと管理者レベルがあり、管理者レベルでは各種の設定や保守操作ができます。

補 足

- TopAccessの概要については、1章の以下のページを参照してください。
📖 P.14「TopAccessの使用環境」
- ファクス関係の表示や設定は、オプションのファクスキットが本機に装着されている場合のみ可能です。

注 意

本書で説明している設定や操作を行った場合、TopAccessの画面が自動的に更新されるまで、本機の電源は切らないでください。

ユーザモード

ユーザモードでは以下の設定や管理ができます。

- 装置状態の一覧(装置タブページ)
装置タブページでは、装置の各種情報、メッセージや警告、各カセットの現在の用紙サイズと用紙残量の状態、オプション装着状態などが一覧できます。
📖 P.55「TopAccessの装置タブページ」
- アドレス帳の登録(登録タブページ)
登録タブページでは、アドレス帳の宛先の追加、編集ができます。
📖 P.59「TopAccessの登録タブページ」
- カウンタを管理する(カウンタタブページ)
カウンタタブページでは、本機の各種トータルカウンタの現在値を表示できます。
📖 P.79「TopAccessのカウンタタブページ」

管理者モード

管理者の権限を持った人だけがアクセスできます。管理者モードを使用するには、管理者用パスワードが必要です。

- 管理者による各種のセットアップと保守(管理者タブページ)

セットアップメニュー：

- 一般設定
- ネットワーク設定
- コピー設定
- ファクス設定
- プリンタ設定
- プリントサービス設定

📖 P.83「TopAccessの管理者タブページ- セットアップメニュー(プリンタ機能)」

保守メニュー：

- 言語切り替え
- バックアップ(アドレス帳)
- リストア(アドレス帳)
- インポート(アドレス帳)
- エクスポート(アドレス帳、部門情報)

📖 P.121「TopAccessの管理者タブページ- 保守メニュー」

- 部門コード管理(カウンタタブページ)

管理者は、登録されている全部門コードを一覧できます。(各部門のトータルカウンタも表示されます。)

📖 P.141「TopAccessによる部門コード管理(管理者用)」

コンピュータ上でTopAccessを起動する

TopAccessはお使いのコンピュータから起動することができます。

注意

- はじめてTopAccessを使用したときにTopAccessが起動しない場合は、以下のページを参照して本体のTCP/IPとHTTPの設定が正しく行われているか確認してください。
📖 P.91「TCP/IPの設定」
📖 P.96「HTTPの設定」
- TopAccessでは、コンピュータに情報を保存するのにCookieを使用するので、TopAccessを正しく動作させるためにはお使いのブラウザでCookieを使用できるように設定されている必要があります。
- TopAccessが正しく動作しないときには、Cookieを削除して試してみてください。
- 1台のコンピュータから複数のブラウザを使って、TopAccessで同じ設定を同時に行わないでください。

TopAccessを起動する

以下の手順で、TopAccessをコンピュータ上で起動します。ユーザモードおよび管理者モードでのTopAccessの起動方法を説明しています。

注意

1台のコンピュータで、複数のTopAccessを起動しないでください。

1 TopAccessを操作するには、Webブラウザを起動し、URLに以下のアドレスを入力します。

http://<IPアドレス>または、http://<デバイス名>

アドレス🔗

例：

本機のIPアドレスが「10.10.70.105」のとき

http://10.10.70.105

本機のデバイス名が「mfp_04391122」のとき


http://mfp-04391122

2 TopAccessのトップページが表示されます。

TopAccess

装置登録カウンタ管理者

装置



装置情報	
状態	待機中
名称	MFP-00013995
設置場所	
MFPモデル	TOSHIBA e-STUDIO205
連絡先	
電話番号	
メッセージ	
警告	●

オプション	
ファクスキット	装着
ネットワークプリンタキット	装着
スキャナアップグレードキット	未装着
自動両面ユニット	装着

用紙サイズ				
カセット	紙サイズ	タイプ	容量	状態
1段目カセット	A4	普通紙	250	なし
2段目カセット	A4	普通紙	250	なし
3段目カセット	A4	普通紙	550	なし
4段目カセット	A4	普通紙	550	なし


トップヘルプ©2002-2005 TOSHIBA TEC CORPORATION All Rights Reserved

3 各タブをクリックし、それぞれのメインページを表示します。

TopAccess

装置 登録 カウンタ 管理者

装置 更新



装置情報	
状態	待機中
名称	MFP-00013995
設置場所	
MFPモデル	TOSHIBA e-STUDIO205
連絡先	
電話番号	
メッセージ	
警告	●

オプション	
ファクスキット	装着
ネットワークプリンタキット	装着
スキャナアップグレードキット	未装着
自動両面ユニット	装着

用紙サイズ				
カセット	紙サイズ	タイプ	容量	状態
1段目カセット	A4	普通紙	250	なし
2段目カセット	A4	普通紙	250	なし
3段目カセット	A4	普通紙	550	なし
4段目カセット	A4	普通紙	550	なし

| トップ | ヘルプ | ©2003-2005 TOSHIBA TEC CORPORATION All Rights Reserved.

各タブは機能ごとにまとめられています。

- 「装置」タブ

装置タブページが表示されます。装置タブページの説明は、以下のページを参照してください。

📖 P.55 「TopAccessの装置タブページ」
- 「登録」タブ

登録タブページが表示されます。登録タブページの説明は、以下のページを参照してください。

📖 P.59 「TopAccessの登録タブページ」
- 「カウンタ」タブ

カウンタタブページが表示されます。カウンタタブページの説明は、以下のページを参照してください。

📖 P.79 「TopAccessのカウンタタブページ」
- 「管理者」タブ

ログインページが表示されます。

手順4に進んでください。

4 「管理者」タブをクリックしたときは、ログインページの「パスワード」フィールドに管理者用のパスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

セットアップメニューページが表示されます。

注 意

- ユーザ名のフィールドは変更しないでください。TopAccessの管理者モードのログイン時は、常に「Admin」でログインする必要があります。
- 工場出荷時の状態では、管理者パスワードは「123456」に設定されています。管理者は必要に応じて、パスワードを変更する必要があります。変更後は、お客様の責任で管理してください。
パスワードの変更については、以下のページを参照してください。
📖 P.85 「装置設定をセットアップする」

5 メニューをクリックし、目的のページを表示します。

以下のメニューがあります。メニューをクリックすると、該当するメニューページが表示されます。

- 「セットアップ」メニュー
 セットアップメニューページが表示されます。
 セットアップメニューページの説明は、以下のページを参照してください。
 〓 P.83 「TopAccessの管理者タブページ- セットアップメニュー(プリンタ機能)」
- 「保守」メニュー
 保守メニューページが表示されます。
 保守メニューページの説明は、以下のページを参照してください。
 〓 P.121 「TopAccessの管理者タブページ- 保守メニュー」

補 足

ページ右上の「ログアウト」リンクをクリックすると、管理者タブページからログアウトすることができます。

TopAccessの画面構成


TopAccessを起動すると、「装置」画面が表示されます。

1 —

TopAccess

装置 | 登録 | カウンタ | 管理者

装置



装置情報	
状態	待機中
名称	MFP-00013995
設置場所	
MFPモデル	TOSHIBA e-STUDIO205
連絡先	
電話番号	
メッセージ	
警告	●

オプション	
ファクスキット	装着
ネットワークプリンタキット	装着
スキャナアップグレードキット	未装着
自動両面ユニット	装着

用紙サイズ				
力セット	紙サイズ	タイプ	容量	状態
1段目力セット	A4	普通紙	250	なし
2段目力セット	A4	普通紙	250	なし
3段目力セット	A4	普通紙	550	なし
4段目力セット	A4	普通紙	550	なし

TopAccess | ©2003-2005 TOSHIBA TEC CORPORATION All Rights Reserved.

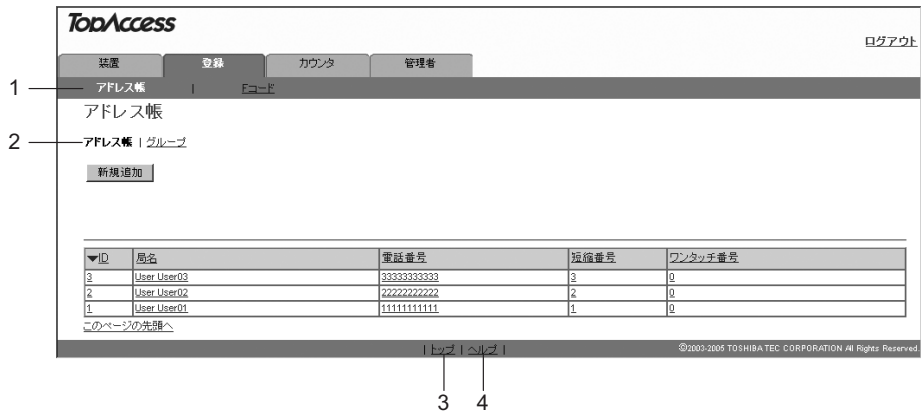
1) 機能タブ

各タブは機能ごとにまとめられています。タブをクリックすると、該当する機能のページが表示されます。以下のタブがあります。

- 「装置」タブ
- 「登録」タブ
- 「カウンタ」タブ
- 「管理者」タブ

メニュー表示:

画面のメニューやサブメニューの基本構成は以下のようになっています。



1) メニューバー

選択した機能タブの各メニューページへアクセスします。

2) サブメニューバー

選択した機能タブやメニューの各サブメニューページへアクセスします。

3) トップ

このリンクをクリックすると、表示しているページの先頭へ戻ります。

4) ヘルプ

このリンクをクリックすると、オンラインヘルプが起動します。

注 意

TopAccessのオンラインヘルプは、以下のブラウザはサポートしておりません。

- Safari 2.0

TopAccessの装置タブページ

本章では、TopAccessの装置タブページに表示される装置の情報の見方について説明します。

TopAccessの装置タブページ	56
--------------------------------	-----------

TopAccessの装置タブページ

TopAccessを起動すると、装置タブページが表示されます。(「装置」タブをクリックしたときも、表示されます。)

The screenshot shows the '装置' (Device) tab in the TopAccess interface. It includes a refresh icon (更新) in the top right corner. The main content area is divided into three sections:

- 装置情報 (Device Information):** A table showing details for device MFP-00013995, including status (待機中), name, location, model (TOSHIBA e-STUDIO205), contact information, and a warning (警告).
- オプション (Options):** A table listing installed and non-installed options like fax kit, network printer kit, and scanner upgrade kit.
- 用紙サイズ (Paper Size):** A table showing paper tray settings for A4 paper, including capacity and status.

このページには、装置に関する以下の情報が表示されます。

1) 更新アイコン

クリックすると、ページ上の情報が更新され、表示されます。

2) 装置情報

下記情報が表示されます。

- **状態:** 本機の状態(待機中、警告など)を表示します。
- **名称:** 本機の名称を表示します。
- **設置場所:** 本機の設置場所を表示します。
- **MFPモデル:** 本機のモデル名を表示します。
- **連絡先:** 本機を管理する担当者の氏名を表示します。
- **電話番号:** 本機を管理する担当者の電話番号を表示します。
- **メッセージ:** 管理者メッセージを表示します。
- **警告:** 警告メッセージを表示します。エラーは赤で、警告は黄で表示されます。

3) 用紙サイズ

下記情報が表示されます。

- **カセット:** 装着されているカセットを一覧表示します。
- **紙サイズ:** 各カセットにセットされている用紙のサイズを表示します。
- **タイプ:** 各カセットにセットされている用紙の種類を表示します。
- **容量:** 各カセットにセットできる最大の用紙枚数を表示します。
- **状態:** 各カセットの用紙の有無などの状態を表示します。

注意

カセットの用紙サイズ設定は、本機の操作パネルで行ってください。TopAccessで設定することはできません。設定方法に関する詳細は、**取扱説明書【コピー編】**を参照してください。

4) オプション

下記情報が表示されます。

- **ファクスキット**:ファクスキットの装着状態を表示します。
- **ネットワークプリンタキット**:ネットワークプリンタユニットの装着状態を表示します。
- **スキャナアップグレードキット**:スキャナアップグレードキットの装着状態を表示します。
- **自動両面ユニット**:自動両面ユニットの装着状態を表示します。

エラー表示:

エラーが発生すると、装置タブページにエラーアイコンとエラーメッセージが表示されます。


TopAccess

装置登録カウンタ管理者

装置

更新

1



装置情報	
状態	警告
名称	MFP-00013995
設置場所	
MFPモデル	TOSHIBA e-STUDIO205
連絡先	
電話番号	
メッセージ	

2

オプション	
ファクスキット	装着
ネットワークプリンタキット	装着
スキャナアップグレードキット	未装着
自動両面ユニット	装着

用紙サイズ				
カセット	紙サイズ	タイプ	容量	状態
1段目カセット	A4	普通紙	250	なし
2段目カセット	A4	普通紙	250	なし
3段目カセット	A4	普通紙	550	なし
4段目カセット	A4	普通紙	550	なし

警告

● 排紙所で紙詰まりです - 用紙を取除いて下さい。

トップヘルプ©2003-2005 TOSHIBA TEC CORPORATION All Rights Reserved

1) アイコン表示欄

この場所にアイコンが表示されます。なお、複数のエラーが発生している場合は、最初に発生したエラーが表示されます。詳細は以下を参照してください。

📖 P.144「アイコン一覧」

2) 警告欄

この場所にメッセージが表示されます。詳細は以下を参照してください。

📖 P.146「メッセージ一覧」

TopAccessの登録タブページ

本章では、TopAccessの登録タブページでの、アドレス帳管理およびメールボックスの管理について説明します。

アドレス帳を管理する	60
アドレス帳の宛先を管理する	60
アドレス帳のグループを管理する	65
メールボックスを管理する	68
メールボックスを開設する	69
メールボックスを削除する	76

アドレス帳を管理する

本機には、アドレス帳機能が付属しています。この機能を使用して、ファクス送信を実行する際に指定する、宛先リストを管理することができます。

TopAccessの「登録」タブにあるアドレス帳メニューページから、ファクス番号の宛先のコンタクト情報を追加、編集、削除することができます。また、グループを作成し、複数の宛先をそのグループに割り当てることもできます。

📖 P.60「アドレス帳の宛先を管理する」

📖 P.65「アドレス帳のグループを管理する」

補 足

アドレス帳の管理は、本機の操作パネルから行うこともできます。操作パネルからアドレス帳を管理する方法については、**取扱説明書【ファクス編】**を参照してください。

アドレス帳の宛先を管理する

宛先に関する情報を入力し、その宛先を追加、編集することができます。また、宛先をアドレス帳から削除することもできます。

📖 P.60「宛先を追加、編集する」

📖 P.64「宛先を削除する」

宛先を追加、編集する

- 1 「登録」タブをクリックし、「アドレス帳」メニューをクリックします。
アドレス帳メニューページが表示されます。
- 2 「新規追加」をクリックし、新規宛先を追加します。または、宛先一覧で編集したい宛先に対応するリンクをクリックします。

TopAccess

装置 | 登録 | カウンタ | 管理者

アドレス帳 | 記録

アドレス帳

アドレス帳 | グループ

新規追加

ID	氏名	電話番号	短縮番号	ワンタッチ番号
3	User User03	3333333333	3	0
2	User User02	2222222222	2	0
1	User User01	1111111111	1	0

このページの先頭へ

トップ | ヘルプ |

©2003-2005 TOSHIBA TEC CORPORATION All Rights Reserved

宛先情報ページが表示されます。

3 宛先情報に関する以下の項目を入力します。

TopAccess

装置 登録 カウンタ 管理者

アドレス帳 | 記録

宛先情報 アドレス帳▶

保存 キャンセル リセット 削除

オプション指定

*必須入力
**どちらか一方は必須

*局名	User User01
*電話番号	111111111111
電話番号2	
**短縮番号	1
**ワンタッチ番号	
検索文字	U

トップ ヘルプ ©2003-2005 TOSHIBA TEC CORPORATION All Rights Reserved

局名: 宛先の名称を入力します。半角20文字、全角10文字まで入力することができます。

電話番号: 宛先のファクス番号を入力します。半角数字で128文字まで入力することができます。(「スペース」と「()」は使用できません。)

電話番号2: 宛先の第2ファクス番号を入力します。半角数字で128文字まで入力することができます。(「スペース」と「()」は使用できません。)

第2ファクス番号とは、「電話番号」へ入力したファクス番号がリダイヤルしても通信できない場合、その代わりに使用する予備のファクス番号です。

短縮番号: 宛先の短縮番号を半角数字で入力します。(1～999までの数値で最大300件。ただし、同じ番号は使用できません。)

ワンタッチ番号: 宛先のワンタッチ番号を半角数字で入力します。(1～75までの数値で最大75件。ただし、同じ番号は使用できません。)

検索文字: 本機の操作パネルから宛先のID検索を行う際に使用する検索文字(1文字)を入力します。半角の数字/カタカナ/アルファベット(大文字)を使用することができます。

注 意

- 宛先を登録するには、「名称」と「電話番号」を必ず入力する必要があります。また、「短縮番号」が「ワンタッチ番号」のどちらか一方を必ず入力する必要があります。
- 通常、「電話番号」および「電話番号2」のファクス番号は、ハイフン(-)を含めずに入力します。ハイフンを入力すると、その箇所にポーズが設定され、約3秒間のダイヤル間隔が空きます。
- 「短縮番号」と「ワンタッチ番号」のうち、先に「ワンタッチ番号」だけを登録すると、後から「短縮番号」を追加登録することはできません。
- 原稿をファクス送信するには、オプションのファクスキットが必要です。このキットを装着していない場合は、ファクス番号を設定してもファクス送信を実行することはできません。

補 足

- 各フィールドに入力した情報を消去する場合は、[リセット]をクリックします。
- 宛先の追加や編集を中止する場合は、[キャンセル]をクリックします。

4 [オプション指定]をクリックします。

ファクス設定ページが表示されます。

5 宛先のファクス装置本体の性能に合わせ、下記項目を入力し、[保存]をクリックします。

SUB: 宛先ファクスのメールボックスへ原稿を送信する場合は、メールボックス番号を入力します。数字、#、*を半角で最大20文字まで入力することができます。

SEP: 宛先ファクスのメールボックスから文書を取り込む場合は、メールボックス番号を入力します。数字、#、*を半角で最大20文字まで入力することができます。

- PWD:** 宛先ファクスのメールボックスから文書を取り込むためのパスワードを入力します。20文字までの数字、#、*を入力することができます。
- 日時指定送信:** 送信する時刻(00:00~23:59)を指定することができます。
- 海外指定:** 文書を海外指定モードで送信するかを選択します。この機能を有効にすると、通常より遅いスピードで文書を送信し、回線の影響を受けにくくします。4800/9600/14400bpsの内から選択し、数値が小さくなるほどスピードが遅くなります。
- 自動モニタ:** 常にスピーカから回線の音をモニタするかを選択します。
- 原稿送信結果表:** ファクス送信後、送信結果表を印刷するかを選択します。

補 足

[リセット]をクリックすると、宛先に設定したファクス設定をデフォルト状態に戻します。

6 宛先情報ページで[保存]をクリックし、新規宛先を追加します。

TopAccess

装置 登録 カウンタ 管理者

アドレス帳 Fコード

宛先情報 アドレス帳▶

保存 キャンセル リセット 削除

オプション指定

*必須入力
**どちらか一方は必須

名称	User User01
*電話番号	111111111111
電話番号2	
**短縮番号	1
**ワンタッチ番号	
検索文字	U

トップ ヘルプ ©2003-2005 TOSHIBA TEC CORPORATION All Rights Reserved

補 足

入力した短縮番号やワンタッチ番号がすでに登録されていると、それを示すメッセージが表示されます。この場合は、[戻る]をクリックしてから入力をやり直してください。

宛先を削除する

- 1 「登録」タブをクリックし、「アドレス帳」メニューをクリックします。
アドレス帳メニューページが表示されます。
- 2 宛先一覧で削除したい名称リンクをクリックします。



TopAccess

装置 登録 カウンタ 管理者

アドレス帳 | フォード

アドレス帳

アドレス帳 | ダループ

新規追加

▼ID	局名	電話番号	短縮番号	フンタッチ番号
3	User User03	3333333333	3	0
2	User User02	2222222222	2	0
1	User User01	1111111111	1	0

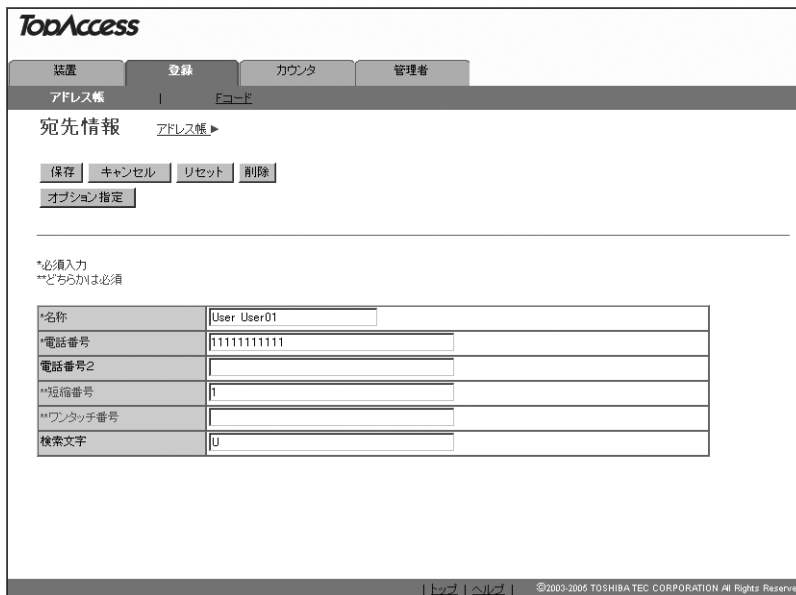
[このページの先頭へ](#)

トップ ヘルプ

©2003-2005 TOSHIBA TEC CORPORATION All Rights Reserved

宛先情報ページが表示されます。

- 3 [削除]をクリックします。



TopAccess

装置 登録 カウンタ 管理者

アドレス帳 | フォード

宛先情報 アドレス帳▶

保存 キャンセル リセット 削除

オプション指定

*必須入力
**どちらか一方は必須

*名称	User User01
*電話番号	1111111111
電話番号2	
**短縮番号	1
**フンタッチ番号	
検索文字	U

トップ ヘルプ

©2003-2005 TOSHIBA TEC CORPORATION All Rights Reserved

アドレス帳から宛先が削除されます。

アドレス帳のグループを管理する

複数の宛先を割り当てたグループを作成することができます。このグループ機能を使用すれば、ファクス送信を複数の宛先へ実行する際に、それらの宛先を個別に選択する手間を省くことができます。また、既存のグループを削除することもできます。

📖 P.65「グループを追加、編集する」

📖 P.67「グループを削除する」

グループを追加、編集する

- 1 「登録」タブをクリックし、「アドレス帳」メニューをクリックします。
アドレス帳メニューページが表示されます。
- 2 「グループ」サブメニューをクリックします。
グループサブメニューページが表示されます。
- 3 [新規]をクリックし、新規グループを追加します。または、グループ一覧で編集したいグループのリンクをクリックします。

TopAccess

装置 登録 カウンタ 管理者

アドレス帳 | エコー

アドレス帳

アドレス帳 | グループ

新規

▼グループ番号	グループ名称	種別	件数	ワンタッチ番号
2	Group02	ファクス	2	2
1	Group01	ファクス	2	1

[このページの先頭へ](#)

トップ ヘルプ ©2003-2005 TOSHIBA TEC CORPORATION All Rights Reserved

グループ情報ページが表示されます。

4 「グループ名称」欄に、グループ名を入力します。

TopAccess

装置 | 登録 | カウンタ | 管理者

アドレス帳 | 登録

グループ情報 アドレス帳 ▶

OK キャンセル リセット 削除

*必須入力

*グループ番号

*グループ名称

種別

ワンタッチ番号

ID	Eメール	ファクス	氏名	Eメールアドレス	電話番号	短縮番号	ワンタッチ番号
3	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	User User03		3333333333	3	0
2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	User User02		2222222222	2	0
1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	User User01		1111111111	1	0

このページの先頭へ

トップ | ヘルプ | ©2007-2008 TOSHIBA TEC CORPORATION All Rights Reserved

グループ番号: グループ番号を入力します。

グループ名称: グループ名を入力します。

種別: ファクスを選択します。(これしか選択できません。)

ワンタッチ番号: グループのワンタッチ番号を入力します。(1～75までの数値で最大50件。ただし、同じ番号は使用できません。)

補 足

- 各欄に入力した情報を消去する場合は、[リセット]をクリックします。
- グループの追加や編集を中止する場合は、[キャンセル]をクリックします。

5 グループに追加したいユーザのファクスチェックボックスをチェックします。

6 [OK]をクリックします。

グループが作成されます。

補 足

入力したワンタッチ番号がすでに登録されていると、それを示すメッセージが表示されます。この場合は、[戻る]をクリックしてから入力をやり直してください。

グループを削除する

- 1 「登録」タブをクリックし、「アドレス帳」メニューをクリックします。
アドレス帳メニューページが表示されます。
- 2 「グループ」サブメニューをクリックします。
グループサブメニューページが表示されます。
- 3 グループ一覧で削除したいグループリンクをクリックします。

TopAccess

装置 登録 カウンタ 管理者

アドレス帳 | エコード

アドレス帳

アドレス帳 | グループ

新規

▼グループ番号	グループ名称	種別	件数	ワンタッチ番号
3	Group03	ファクス	2	3
2	Group02	ファクス	2	2
1	Group01	ファクス	2	1

[このページの先頭へ](#)

トップ | ヘルプ | ©2003-2006 TOSHIBATEC CORPORATION All Rights Reserved

グループ情報ページが表示されます。

- 4 [削除]をクリックします。

TopAccess

装置 登録 カウンタ 管理者

アドレス帳 | エコード

グループ情報 アドレス帳 ▶

OK キャンセル リセット 削除

*必須入力

*グループ番号

*グループ名称

種別

ワンタッチ番号

ID	Eメール	ファクス	▼屋名	Eメールアドレス	電話番号	短縮番号	ワンタッチ番号
3	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	User User03		3333333333	3	0
2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	User User02		2222222222	2	0
1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	User User01		1111111111	1	0

[このページの先頭へ](#)

トップ | ヘルプ | ©2003-2006 TOSHIBATEC CORPORATION All Rights Reserved

選択したグループが削除されます。

メールボックスを管理する

本機は、Fコード通信をサポートしており、メールボックスを使用して原稿の登録、取り出しを行うことができます。

TopAccessを使用して、本機上のメールボックスのセットアップ、編集、削除を行うことができます。

Fコード通信のメールボックスには3つの種類があります。

親展メールボックス

親展メールボックスは、1回のみ取り出し可能なファクス原稿を保管する場合に使用します。メールボックスから原稿を取り出すと、メモリに保存されている原稿を消去します。同じ箱番号で登録をすると、前の原稿に追加して保存します。また、機密性を持たせるためにパスワードを付加することも可能です。

掲示板メールボックス

掲示板メールボックスは、継続的に取り出し可能なファクス原稿を保管する場合に使用します。メールボックスから原稿を取り出しても、メモリに保存されている原稿は消えません。同じ箱番号で登録をすると、新しい原稿に書き換えられます。また、機密性を持たせるためにパスワードを付加することも可能です。

転送メールボックス

転送メールボックスは、ファクス原稿を指定した宛先に自動的に転送したい場合に使用します。転送メールボックスでは、以下の箱属性を指定することができます。

インターネットファクス／ファクス(中継)箱属性

メールボックスに送信されてきた原稿を、公衆回線を介してリモートファクス装置に転送します。中継送信を完了すると、送信結果が指定したリモートファクス装置に送信されます。また、パスワードを設定することもできます。

注 意

- メールボックスを管理するには、オプションのファクスキットが本機に装着されている必要があります。
- メールボックス局への文書の送信、保存やメールボックス局からの文書の取り込みは、Fコード対応ファクス機でのみ有効です。本機は、メールボックス局機能をサポートしています。

補 足

メールボックスの管理は、本機の操作パネルから行うことができます。操作パネルからメールボックスを管理する方法については、**取扱説明書【ファクス編】**を参照してください。

メールボックスを開設する

Fコード通信を使用するには、メールボックス局を開設する必要があります。最大100個のメールボックスを開設することができます。

1 「登録」タブを選択し、「Fコード」メニューをクリックします。

Fコードメニューページが表示されます。

2 [新規]をクリックし、新規メールボックスを開設します。または、メールボックス一覧で編集したい箱番号リンクをクリックします。

箱番号	箱属性
2222	指示板
1111	観展

- ・ [新規]をクリックした場合は、手順5へ進みます。
- ・ パスワードで保護されていない箱番号リンクをクリックした場合は、手順4へ進みます。
- ・ パスワードで保護されている箱番号リンクをクリックした場合は、次の手順へ進みます。

3 パスワードを入力し、[OK]をクリックします。

パスワード *****

4 [編集]をクリックします。

箱番号	箱属性
1111	観展

5 箱属性を選択し、[箱属性設定]をクリックします。

親展: 親展のメールボックスを作成します。

掲示板: 掲示板のメールボックスを作成します。

転送: 中継同報のメールボックスを作成します。

インターネットファクス/ファクス(中継): ファクスへの中継同報メールボックスを作成します。

注意

インターネットファクス/ファクス(中継)箱属性は、転送をチェックすると自動的にチェックされます。

6 各項目のボタンをクリックし、メールボックスのプロパティを設定します。

[Fコード設定]: メールボックス設定をセットアップします。

📖 P.71 「Fコード設定」

[宛先設定]: 送信先をセットアップします。この項目は、ファクス(中継)箱属性を作成するときに有効です。

📖 P.72 「宛先設定(メールボックス)」

[中継孫局送信]: 転送を行った際に中継孫局結果表を送信する宛先を設定します。ファクス(中継)箱属性を作成するときに設定します。

📖 P.75 「中継孫局送信」

7 メールボックスのプロパティ設定を完了したら、[保存]をクリックします。

設定したメールボックスのプロパティが登録されます。

Fコード設定

Fコード設定ページでは、箱番号およびパスワードをセットアップすることができます。

Fコード設定

保存 キャンセル

*必須入力

1 箱番号 1111

2 パスワード *****

1) 箱番号

メールボックスの箱番号を入力します。半角の数字を20文字まで入力することができます。

2) パスワード

メールボックスをパスワードで保護する場合は、パスワードを入力します。半角の数字、#、*を含め、20文字まで入力することができます。

1 [Fコード設定]をクリックし、Fコード設定ページを開きます。

2 箱番号を入力します。(必要により、パスワードを入力します。)

Fコード設定

保存 キャンセル

*必須入力

箱番号 1111

パスワード *****

3 [保存]をクリックします。

Fコードが保存されます。

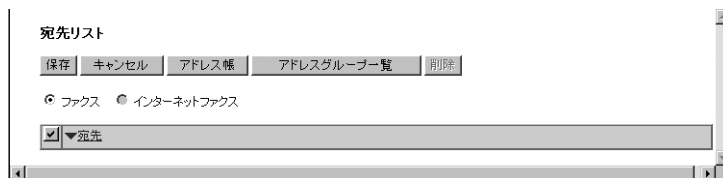
宛先設定(メールボックス)

宛先リストのページでは、ファクス中継転送する宛先を指定します。
宛先を指定するには、個人やグループのファクス番号をアドレス帳から選択します。

宛先をアドレス帳から選択する

本機のアドレス帳から宛先を選択します。

- 1 [宛先設定]をクリックし、宛先リストページを開きます。
- 2 [アドレス帳]をクリックします。



アドレス帳のページが表示されます。

- 3 目的の宛先のファクスチェックボックスをチェックします。



- 4 [追加]をクリックします。

選択した宛先が宛先リストページに追加されます。

補 足

宛先設定を保存する前に、宛先リストに追加した宛先を削除することができます。

📖 P.74「宛先リストから宛先を削除する」

5 [保存]をクリックします。



宛先リスト

保存 キャンセル アドレス帳 アドレスグループ一覧 削除

☒ ファクス ☐ インターネットファクス

<input checked="" type="checkbox"/>	▼宛先
<input type="checkbox"/>	短縮番号 -2
<input type="checkbox"/>	短縮番号 -1

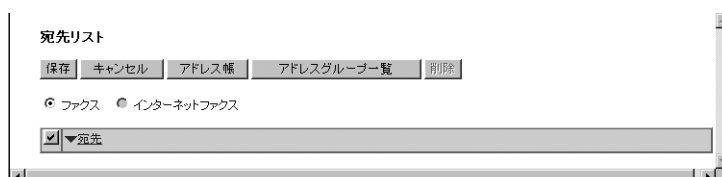
宛先設定が保存されます。

グループをアドレス帳から選択する

本機のアドレス帳からグループを選択します。

1 [宛先設定]をクリックし、宛先リストページを開きます。

2 [アドレスグループ一覧]をクリックします。



宛先リスト

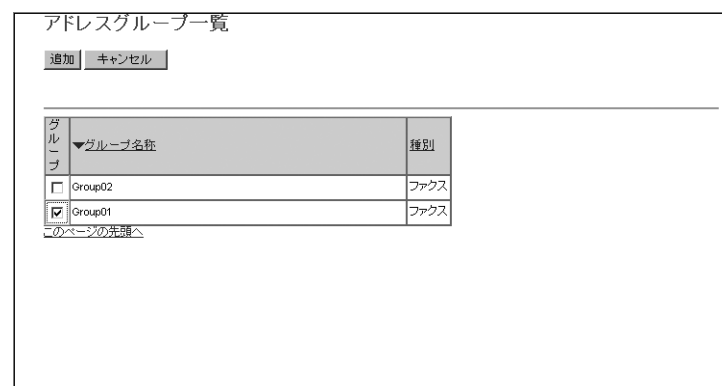
保存 キャンセル アドレス帳 アドレスグループ一覧 削除

☒ ファクス ☐ インターネットファクス

<input checked="" type="checkbox"/>	▼宛先
-------------------------------------	-----

アドレスグループ一覧のページが開きます。

3 目的の宛先が所属するグループのチェックボックスをチェックします。



アドレスグループ一覧

追加 キャンセル

グループ	▼グループ名	種別
<input type="checkbox"/>	Group02	ファクス
<input checked="" type="checkbox"/>	Group01	ファクス

このページの先頭へ

4 [追加]をクリックします。

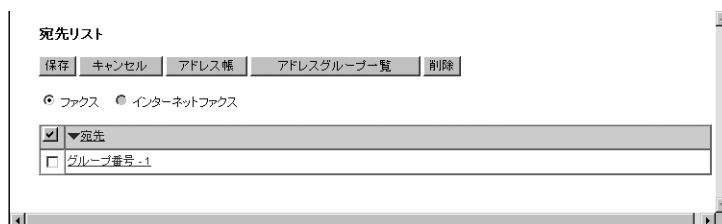
選択したグループのすべての宛先が、宛先リストページに追加されます。

補 足

宛先設定を保存する前に、宛先リストに追加した宛先を削除することができます。

📖 P.74「宛先リストから宛先を削除する」

5 [保存]をクリックします。



宛先リスト

保存 キャンセル アドレス帳 アドレスグループ一覧 削除

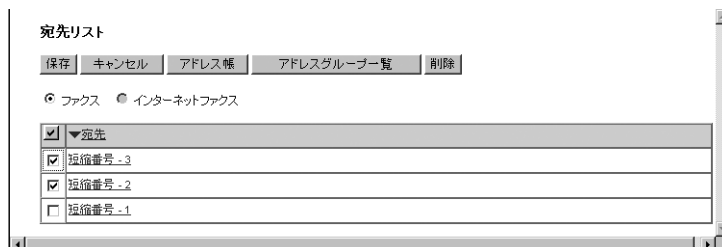
☐ ファクス ☒ インターネットファクス

<input checked="" type="checkbox"/>	▼宛先	
<input type="checkbox"/>	グループ番号	1

宛先設定が保存されます。

宛先リストから宛先を削除する

1 宛先リストから削除したい宛先のチェックボックスをチェックし、[削除]をクリックします。



宛先リスト

保存 キャンセル アドレス帳 アドレスグループ一覧 削除

☐ ファクス ☒ インターネットファクス

<input checked="" type="checkbox"/>	▼宛先	
<input checked="" type="checkbox"/>	短縮番号	3
<input checked="" type="checkbox"/>	短縮番号	2
<input type="checkbox"/>	短縮番号	1

選択された宛先が宛先リストから削除されます。

中継孫局送信

中継孫局結果表を送信する宛先を設定します。

1 [中継孫局送信]をクリックします。

結果送信宛先ページが表示されます。

2 中継孫局結果表を送信する宛先のファクス番号を入力するか、または一覧から選択し、[追加]をクリックします。

ファクス		局名	電話番号	短縮番号	登録済短縮番号
C	3	User User03	3333333333	3	0
C	2	User User02	2222222222	2	0
C	1	User User01	1111111111	1	0

補 足

一覧で選択した宛先を解除するには、[リセット]をクリックします。

注 意

中継孫局結果表の宛先には、複数の宛先を指定することはできません。

3 [保存]をクリックします。

中継孫局結果表の宛先が設定されます。

メールボックスを削除する

本機内のメールボックスをTopAccessにより削除することができます。

注意

削除するメールボックスに文書が存在する場合は、この操作は、そのメールボックスから文書を取り込む、印刷するまたは削除するまで実行することはできません。

1 「登録」タブを選択し、「Fコード」メニューをクリックします。

Fコードメニューページが表示されます。

2 メールボックス一覧で削除したい箱番号リンクをクリックします。

箱番号	箱属性
2222	提示板
1111	親展

- ・ 選択したメールボックスがパスワードで保護されていない場合は、手順4へ進みます。
- ・ 選択したメールボックスがパスワードで保護されている場合は、次の手順へ進みます。

3 パスワードを入力し、[OK]をクリックします。

メールボックス設定ページが表示されます。

4 [削除]をクリックします。

TopAccess

装置 登録 カウンタ 管理者

アドレス帳 Fコード

Fコード設定 Fコード▶

編集 削除

箱番号	2222
箱属性	掲示板

トップ ヘルプ ©2003-2005 TOSHIBA TEC CORPORATION All Rights Reserved

削除の確認ダイアログボックスが表示されます。

5 [OK]をクリックします。



選択したメールボックスが削除されます。

TopAccessのカウンタタブページ

本章では、TopAccessのカウンタタブページでトータルカウンタを表示する方法について説明します。

カウンタを表示する.....	80
トータルカウンタを表示する	80
部門カウンタを表示する	81

カウンタを表示する

本機は、印刷、コピーおよびスキャンしたページ数の記録を保存し、各カウンタとして管理します。これらのカウンタは、トータルまたは部門別に表示されます。ここでは、各カウンタの表示方法および部門別カウンタの管理方法を説明します。

📖 P.80「トータルカウンタを表示する」

📖 P.81「部門カウンタを表示する」

トータルカウンタを表示する

トータルカウンタメニューページには、スモールサイズ(B4、A4、B5、A5)のコピーおよび印刷カウンタ、ラージサイズ(A3)のコピーおよび印刷カウンタ別にトータルカウンタ情報が表示されます。

1 「カウンタ」タブをクリックし、「トータルカウンタ」メニューをクリックします。

トータルカウンタメニューページが表示されます。

2 トータルカウンタを確認します。

TopAccess

装置

登録

カウンタ

管理者

トータルカウンタ

部門管理

トータルカウンタ

プリントカウンタ

	コピー	ファクス	プリンタ	リスト	トータル
スモール	0	0	5	8	13
ラージ	0	0	0	0	0
トータル	0	0	5	8	13

スキャンカウンタ

コピー	ファクス	トータル
0	0	0

トータル

ヘルプ

©2003-2005 TOSHIBA TEC CORPORATION All Rights Reserved.

プリントカウンタおよびスキャンカウンタに表示される値の詳細です。なお、これらの値をリセットすることはできません。

プリントカウンタ

コピー： コピー操作によるプリント枚数を表示します。

ファクス： ファクス受信によるプリント枚数を表示します。

プリンタ： 印刷操作、インターネットファクス受信によるプリント枚数を表示します。

リスト： リスト出力によるプリント枚数を表示します。

トータル： 合計プリント枚数を表示します。

スキャンカウンタ

コピー： コピー操作によるスキャン枚数を表示します。

ファクス： ファクス送信によるスキャン枚数を表示します。

トータル： 合計スキャン枚数を表示します。

部門カウンタを表示する

部門管理メニューページでは、特定の部門のカウンタ情報を確認することができます。部門カウンタを表示するには、該当する部門の部門コードを入力する必要があります。

注 意

部門カウンタ表示は、本機で部門管理機能が有効になっている場合のみ可能です。

補 足

管理者は、全部門のカウンタ情報を確認することができます。

📖 P.142「部門コードを管理する(管理者用)」

- 1 「カウンタ」タブをクリックし、「部門管理」メニューをクリックします。
部門管理メニューページが表示されます。
- 2 「部門コード」フィールドに、カウンタを確認したい部門の部門コードを入力し、[設定]をクリックします。

TopAccess

装置 登録 カウンタ 管理者

トータルカウンタ 部門管理

部門管理

部門ごとのカウンターを見るには部門コードを入力して下さい。

部門コード ***** 設定

トップ ヘルプ ©2003-2005 TOSHIBA TEC CORPORATION All Rights Reserved

指定した部門の部門カウンタが表示されます。

TopAccess

装置 登録 カウンタ 管理者

トータルカウンタ 部門管理

部門管理

部門ごとのカウンターを見るには部門コードを入力して下さい。

部門コード 設定

番号	部門名称	部門コード	コピー	プリンタ	ファクス送信	ファクス受信
22		22222	0	0	0	0

トップ ヘルプ ©2003-2005 TOSHIBA TEC CORPORATION All Rights Reserved

10

TopAccessの管理者タブページ- セットアップメニュー(プリンタ機能)

本章では、TopAccessの管理者が行う各種のセットアップについて説明します。

装置設定をセットアップする	85
装置情報の設定	87
各種タイマの設定	88
日付と時間の設定	88
WEB設定	88
ネットワーク設定をセットアップする(プリンタ機能)	89
TCP/IPの設定	91
IPX/SPXの設定	92
AppleTalkの設定	93
Bonjourの設定	93
DNSの設定	94
DDNSの設定	95
NetWareの設定	96
HTTPの設定	96
SNMPの設定	97
コピー設定をセットアップする	99
コピー設定	100
ファクス設定をセットアップする	102
ファクス設定	104
プリンタ設定をセットアップする	109
一般設定	110
Raw印刷ジョブ印刷初期値設定	111
Raw印刷ジョブ設定	112
プリントサービス設定をセットアップする(プリンタ機能)	115
Raw TCP印刷の設定	117

LPD印刷の設定	117
IPP印刷の設定	118
NetWare印刷の設定	119
バージョン情報を表示する	120

装置設定をセットアップする

管理者は「セットアップ」メニューの「一般」サブメニューのページから、装置情報、各種タイマ、日付、時刻やWebの設定などの一般設定をセットアップすることができます。

注意

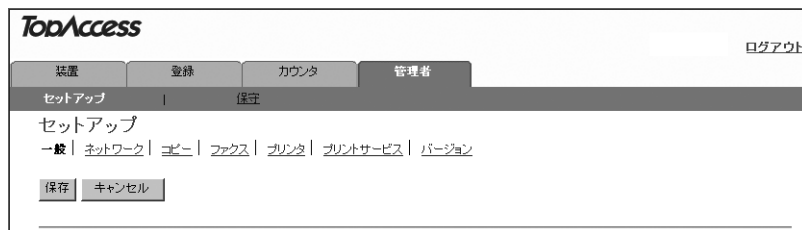
設定を変更しても、設定した内容がすぐに本体の液晶画面に反映されないことがあります。設定を変更した場合は、操作パネルの[リセット]ボタンを押すか、オートクリアされると反映されます。

装置設定のセットアップ手順

1 TopAccessの管理者モードを起動します。

📖 P.48「TopAccessを起動する」

2 「セットアップ」メニューをクリックし、「一般」サブメニューをクリックします。



一般サブメニューページが表示されます。

3 必要に応じて、装置設定をセットアップします。



このページでは、以下の設定を行うことができます：

📖 P.87「装置情報の設定」

📖 P.88「各種タイマの設定」

📖 P.88「日付と時間の設定」

📖 P.88「WEB設定」

4 [保存]をクリックします。

保存の確認ダイアログボックスが表示されます。

注 意

設定を保存する前に[キャンセル]をクリックすると、設定を保存せずに現在の設定状態に戻ります。[キャンセル]をクリックしても、工場出荷時の設定に戻すことはできません。[キャンセル]ボタンは、設定を保存する前に、変更した設定をクリアしてすべて現在の設定状態に戻したい場合に、クリックします。

5 [OK]をクリックし、変更を適用します。



注 意

Internet Explorerをお使いの場合、[保存]をクリックして設定の変更を保存した後も、画面上に表示された設定の値が更新されないことがあります。設定は正常に適用されています。この場合、サブメニューをクリックして画面を更新すると、現在の設定状態で各項目の値が表示されます。

装置情報の設定

「装置」タブページに表示される装置情報の内容を設定します。

装置情報	
1 — 名称	<input type="text" value="MFP-00013995"/>
2 — MFPモデル	<input type="text" value="TOSHIBA e-STUDIO205"/>
3 — 設置場所	<input type="text"/>
4 — 連絡先	<input type="text"/>
5 — サービス電話番号	<input type="text"/>
6 — 管理者メッセージ	<input type="text"/>
7 — 管理者パスワード	<input type="password" value="•••••"/>
8 — パスワードの確認	<input type="password" value="•••••"/>

1) 名称

本機の装置名を表示します。

2) MFPモデル

本機のモデル名を表示します。

3) 設置場所

本機の設置場所を入力します。この情報は、ユーザがTopAccessを起動したときに開かれる「装置」タブページに表示されます。

4) 連絡先

本機を管理する担当者の名前を入力します。この情報は、ユーザがTopAccessを起動したときに開かれる「装置」タブページに表示されます。

5) サービス電話番号

本機のサービス担当者の電話番号を入力します。この情報は、ユーザがTopAccessを起動したときに開かれる「装置」タブページに表示されます。

6) 管理者メッセージ

ユーザに通知したい本機に関するメッセージを入力します。この情報は、ユーザがTopAccessを起動したときに開かれる「装置」タブページに表示されます。

7) 管理者パスワード

TopAccessから管理者機能にログインするための管理者パスワードを変更したい場合は、新しいパスワードを入力します。パスワードには、6文字以上10文字以下の英数字を使用することができます。管理者パスワードを空欄にすることはできません。

8) パスワードの確認

管理者パスワードを変更したい場合は、「管理者パスワード」に入力した新しいパスワードを、もう一度入力します。

各種タイマの設定

オートクリア時間、および本機が自動節電モードや自動オフモードに入る時間を設定します。

各種タイマ設定	
1 オートクリア	45 秒
2 自動節電時間	15 分
3 自動オフ時間	90 分

1) オートクリア

本機のアイドル状態が続いた場合に、本体の液晶画面をデフォルト表示およびデフォルト設定に戻すまでの時間を選択します。

2) 自動節電時間

本機のアイドル状態が続いた場合に、自動的に低電力モードになるまでの時間を選択します。

3) 自動オフ時間

本機のアイドル状態が続いた場合に、自動的にスリープモード(待機時に不要な部分への通電を遮断)に入るまでの時間を選択します。

日付と時間の設定

日付、時刻、タイムゾーン、日付表示形式を設定します。

日付と時間	
1	2006 4月 4 10:24
2	(GMT+9:00) 大阪、札幌、東京

1) 日付と時間

左から年、月、日、時、分の順に、年月日および時刻の値を各フィールドにそれぞれ入力または選択します。

2) タイムゾーン

本機を設置する場所のタイムゾーンを選択します

WEB設定

自動的に管理者モードからログアウトするセッションタイマを設定します。

WEB設定	
1 セッション確保時間	10 分

1) セッション確保時間

本機がセッションデータを保持する時間を入力します。5から999の範囲を整数で入力します。

ネットワーク設定をセットアップする(プリンタ機能)

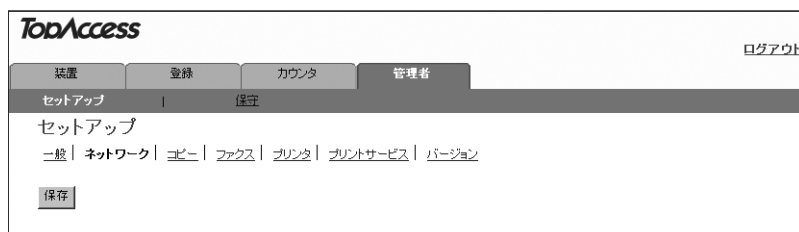
管理者は「セットアップ」メニューの「ネットワーク」サブメニューから、TCP/IP、IPX/SPX、AppleTalk、Bonjour、DNS、DDNS、NetWare、HTTPやSNMPなどのネットワーク設定をセットアップすることができます。

ネットワーク設定のセットアップ手順

1 TopAccessの管理者モードを起動します。

📖 P.48 「TopAccessを起動する」

2 「セットアップ」メニューをクリックし、「ネットワーク」サブメニューをクリックします。



ネットワークサブメニューページが表示されます。

3 リンクをクリックするかページをスクロールして、設定を変更するネットワーク設定の表を表示し、ボタンをクリックして必要に応じてネットワーク設定をセットアップします。



このページでは、以下の設定を行うことができます：

- 📖 P.91 「TCP/IPの設定」
- 📖 P.92 「IPX/SPXの設定」
- 📖 P.93 「AppleTalkの設定」
- 📖 P.93 「Bonjourの設定」
- 📖 P.94 「DNSの設定」
- 📖 P.95 「DDNSの設定」
- 📖 P.96 「NetWareの設定」
- 📖 P.96 「HTTPの設定」
- 📖 P.97 「SNMPの設定」

4 [OK]をクリックします。

変更の確認ダイアログボックスが表示されます。

注意

設定を保存する前に[キャンセル]をクリックすると、設定を保存せずに現在の設定状態に戻ります。[キャンセル]をクリックしても、工場出荷時の設定に戻すことはできません。[キャンセル]ボタンは、設定を保存する前に、変更した設定をクリアしてすべて現在の設定状態に戻したい場合に、クリックします。

5 [OK]をクリックし、設定用のウィンドウを閉じます。

6 [保存]をクリックします。

保存の確認ダイアログボックスが表示されます。

7 [OK]をクリックし、変更を適用します。



NIC(Network Interface Card)の初期化を開始します。

補 足

Internet Explorerをお使いの場合、[保存]をクリックして設定の変更を保存した後も、画面上に表示された設定の値が更新されないことがあります。設定は正常に適用されています。この場合、サブメニューをクリックして画面を更新すると、現在の設定状態で各項目の値が表示されます。

TCP/IPの設定

TCP/IPを介した通信を有効にするには、TCP/IPプロトコルを設定します。TopAccess、Raw TCPまたはLPR印刷、IPP印刷の各機能を使用するには、TCP/IPを設定する必要があります。

TCP/IP

設定を有効にするためにメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。

1 — アドレス設定方法 マニュアル ▼

2 — IPアドレス 10 151 137 78

3 — サブネットマスク 255 255 0 0

4 — ゲートウェイ 10 151 130 1

5 —

IPフィルタリング	開始アドレス	終了アドレス
フィルタ1	0 0 0 0	0 0 0 0
フィルタ2	0 0 0 0	0 0 0 0
フィルタ3	0 0 0 0	0 0 0 0
フィルタ4	0 0 0 0	0 0 0 0
フィルタ5	0 0 0 0	0 0 0 0
フィルタ6	0 0 0 0	0 0 0 0
フィルタ7	0 0 0 0	0 0 0 0
フィルタ8	0 0 0 0	0 0 0 0
フィルタ9	0 0 0 0	0 0 0 0
フィルタ10	0 0 0 0	0 0 0 0

1) アドレス設定方法

IPアドレスの設定方法を選択します。

- **マニュアル**: 固定のIPアドレスを手動で設定します。このオプションを選択したときは、「IPアドレス」フィールドにIPアドレスを入力します。
- **自動**: AutoIP機能またはDHCPを使って、IPアドレスを自動で割り付けます。ネットワークがDHCPをサポートしている場合は、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを自動的にDHCPサーバーから取得することができます。ネットワークがDHCPをサポートしていない場合は、AutoIP機能を使用してIPアドレスを割り付けます。
- **自動IPなし**: AutoIP機能を使用せずDHCPのみを使ってIPアドレスを自動で割り付けます。ネットワークがDHCPをサポートしている場合はIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを自動的にDHCPサーバーから取得することができます。ネットワークがDHCPをサポートしていない場合は、IPアドレスを割り付けません。

2) IPアドレス

「アドレス設定方法」ドロップダウンメニューで「マニュアル」を選択したときに、本機に設定する固定のIPアドレスを入力します。

3) サブネットマスク

「アドレス設定方法」ドロップダウンメニューで「マニュアル」を選択したときに、必要に応じてサブネットマスクを入力します。

4) ゲートウェイ

「アドレス設定方法」ドロップダウンメニューで「マニュアル」を選択したときに、必要に応じてゲートウェイアドレスを入力します。

5) IPフィルタリング

IPフィルタリング設定を利用して、本機にアクセスできるクライアントのIPアドレスを制限したい場合は、アクセスを許可する開始アドレスと終了アドレスを入力します。最大10個の範囲を指定することができます。空欄の場合は、本機に通信可能なすべてのIPアドレスからのアクセスを許可します。

IPX/SPXの設定

IPX/SPXを介した通信を有効にするには、IPX/SPXプロトコルを設定します。

注意

NetWareサーバー5.1/6.0/6.5を使いIPX/SPXを介してNovell印刷機能を使用するには、IPX/SPXを設定する必要があります。

1) IPX/SPX使用

IPX/SPXプロトコルの有効/無効を選択します。IPX/SPXネットワークでNovell印刷をセットアップするには、有効を選択してください。

2) フレームタイプ

目的のフレームタイプを選択します。

- **自動**: 本機が最初に検出した、適切なフレームタイプを使用します。
- **IEEE 802.3/Ethernet II/IEEE 802.3 Snap/IEEE802.2**: 「自動」の代わりに、これらのオプションから使用するフレームタイプを選択することもできます。

3) 現在のフレームタイプ

本機の実際のフレームタイプを表示します。

AppleTalkの設定

AppleTalkを介した通信を有効にするには、AppleTalkプロトコルを設定します。MacintoshコンピュータからAppleTalk印刷機能を使用するには、AppleTalkを設定する必要があります。

Apple Talk

OK キャンセル 設定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。

1 Apple Talk使用 無効 ▼

2 デバイス名 MFP_00013995

3 Apple Talkゾーン *

1) AppleTalk使用

AppleTalkプロトコルの有効／無効を選択します。AppleTalk印刷をセットアップするには、有効を選択してください。

2) デバイス名

AppleTalkネットワークに表示される本機の装置名を入力します。

3) AppleTalkゾーン

必要に応じて本機が接続するゾーン名を入力します。入力しないと、本機はデフォルトゾーン「*」に接続します。

Bonjourの設定

Mac OS X 10.3.x/10.4.xのBonjourネットワークの有効／無効を設定します。

Bonjour

OK キャンセル 設定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。

1 Bonjour使用 有効 ▼

2 Link-Localホスト名 MFP_00013995

3 サービス名 TOSHIBA e-STUDIO205-00013995

1) Bonjour使用

Bonjourの有効／無効を選択します。

2) Link-Localホスト名

本機のDNS名を入力します。

3) サービス名

Bonjourネットワークに表示される本機の名称を入力します。

DNSの設定

DNSを使用してサーバーの指定にFQDNを設定したい場合に、DNSサーバーを有効にします。

補 足

DNSサービスが有効であり、DNSサーバーがダイナミックDNSサービスをサポートしている場合は、同時にDDNSセッションも設定してください。

DNS

OK キャンセル 設定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。

1 — DNS使用 有効 ▼

2 — プライマリDNSサーバーアドレス 0 0 0 0

3 — セカンダリDNSサーバーアドレス 0 0 0 0

1) DNS使用

DNSサーバーの有効／無効を選択します。

2) プライマリDNSサーバーアドレス

DNSサービスが有効な場合に、プライマリDNSサーバーのIPアドレスを指定します。

3) セカンダリDNSサーバーアドレス

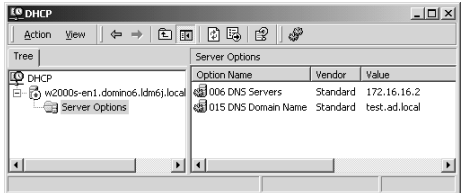
DNSサービスが有効な場合に、必要に応じてセカンダリDNSサーバーのIPアドレスを指定します。

DDNSの設定

DDNSでは、DNSサーバーがダイナミックDNSをサポートしている場合に、ダイナミックDNSサービスを有効にすることができます。

注意

- DDNSを使用している環境で、DHCPを使って本機のIPアドレスを割り当てている場合は、DHCPクライアントで「006 DNS Servers」および「015 DNS Domain Name」を追加し、本機のAレコードとPTRレコードを自動的に登録できるよう設定します。

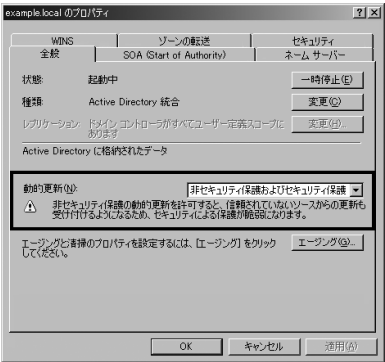


- DDNSを使用する場合は、前方参照ゾーンおよび逆引き参照ゾーンで、「自動更新を使用可能にしますか」オプションが「はい」(Windows 2000 Serverの場合)または「非セキュリティ保護およびセキュリティ保護」(Windows Server 2003の場合)に設定されていることを確認します。また、Windows Server 2003で「非セキュリティ保護およびセキュリティ保護」を設定した場合は、必ず本機のホスト名を前方参照ゾーンおよび逆引き参照ゾーンへ追加してください。

Windows 2000 Server (前方参照ゾーン)



Windows Server 2003 (前方参照ゾーン)



DDNS

OK キャンセル

設定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。

1 — DDNS使用

2 — ホスト名

3 — ドメイン名

有効

MFP-00013995

1) DDNS使用

ダイナミックDNSサービスの有効／無効を選択します。

2) ホスト名

ダイナミックDNSサービスを使用してDNSサーバーに登録する本機のホスト名を入力します。

3) ドメイン名

ダイナミックDNSサービスを使用してDNSサーバーに登録する本機のドメイン名を入力します。

NetWareの設定

NetWareでは、NetWareバインダリとNDSサービスを設定します。Novell印刷環境を構築するときは、この設定を行う必要があります。

The screenshot shows the 'NetWare' configuration window. It has a title bar 'NetWare' and two buttons: 'OK' and 'キャンセル' (Cancel). Below the buttons is a note: '設定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。' (Click the save button in the main window to enable the settings). The window contains five numbered items:

- 1 バインダリサーバー使用 (Bindery server use) with a dropdown menu set to '有効' (Enabled).
- 2 NDS使用 (NDS use) with a dropdown menu set to '有効' (Enabled).
- 3 サービスコンテキスト (Service context) with a text input field.
- 4 サービスツリー (Service tree) with a text input field.
- 5 優先サーバー (Priority server) with a text input field.

1) バインダリサーバー使用

NetWareバインダリモードでのNovell印刷を有効にするかを選択します。バインダリモードでNetWareサーバーを使ってNovell印刷環境を構築するときは、有効を選択してください。

2) NDS使用

NetWare NDSモードでのNovell印刷を有効にするかを選択します。NDSモードでNetWareサーバーを使ってNovell印刷環境を構築するときは、有効を選択してください。有効を選択した場合は、同時にNDSのコンテキストと ツリーの指定も行ってください。

3) サービスコンテキスト

本機用のNetWareプリントサーバーのNDSコンテキストを入力します。

4) サービスツリー

NDSツリーを入力します。

5) 優先サーバー

優先して接続するNetWareサーバー名を入力します。

HTTPの設定

HTTPネットワークサービスでは、WebユーティリティTopAccessやIPP印刷などのWebベースのサービスを有効にするかを設定します。

The screenshot shows the 'HTTP' configuration window. It has a title bar 'HTTP' and two buttons: 'OK' and 'キャンセル' (Cancel). Below the buttons is a note: '設定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。' (Click the save button in the main window to enable the settings). The window contains three numbered items:

- 1 HTTPサーバー使用 (HTTP server use) with a dropdown menu set to '有効' (Enabled).
- 2 プライマリポート番号 (Primary port number) with a text input field containing '80'.
- 3 セカンダリポート番号 (Secondary port number) with a text input field containing '8080'.

1) HTTPサーバー使用

WebユーティリティTopAccessやIPP印刷などのWebベースのサービスを有効にするかを選択します。

2) プライマリポート番号

HTTPアクセスに使用するポート番号を入力します。通常、「80」を使用します。

3) セカンダリポート番号

WebユーティリティTopAccessに使用するポート番号を入力します。通常、「8080」を使用します。

SNMPの設定

SNMPネットワークサービスでは、SNMPネットワーク監視ユーティリティを使って装置状態を監視するSNMP(双方向通信機能)を有効にするかを選択します。管理者が本機のMIBに適合したSNMPネットワーク監視ユーティリティを使って装置状態を監視したい場合は、SNMPおよびSNMPトラップを有効に設定する必要があります。

The image shows a screenshot of the SNMP configuration interface. It includes a title bar 'SNMP' and two buttons: 'OK' and 'キャンセル' (Cancel). Below the buttons is a note: '設定を有効にする為メインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。' (Click the save button in the main window to enable the settings). The configuration is divided into several sections, each with a numbered label on the left:

- 1: SNMP使用 (SNMP Use) - Set to '有効' (Enabled).
- 2: リードコミュニティ (Read Community) - Set to 'public'.
- 3: リードライトコミュニティ (Read-Write Community) - Set to 'private'.
- 4: 認証トラップ使用 (Authentication Trap Use) - Set to '有効' (Enabled).
- 5: 警告トラップ使用 (Warning Trap Use) - Set to '有効' (Enabled).
- 6: トラップ送信先 (Trap Destinations) - A list of 10 trap destinations, each with a 4-digit hexadecimal address field. All fields are currently empty.
- 7: IPトラップコミュニティ (IP Trap Community) - Set to 'public'.
- 8: IPXトラップアドレス (IPX Trap Address) - Set to '00000000000000000000'.

1) SNMP使用

SNMPの有効／無効を選択します。AddressBook Viewerの使用をユーザに許可する場合は、有効を選択してください。

2) リードコミュニティ

SNMPトラップ用のトラップコミュニティ名を入力します。

注意

リードコミュニティに「public」以外のコミュニティ名を入力すると、MIBを使用しているアプリケーション(AddressBook Viewer)が使用できなくなります。また、プリンタドライバのSNMP通信も無効になり、オプション構成の自動取得や部門コードチェックなどの機能が使用できなくなります。

3) リードライトコミュニティ

SNMP通信による読み書きを許可するプライベートコミュニティ名を入力します。

注 意

リードライトコミュニティに「private」以外のコミュニティ名を入力すると、MIBを使用しているアプリケーション(AddressBook Viewer)が使用できなくなります。また、プリンタドライバのSNMP通信も無効になり、オプション構成の自動取得や部門コードチェックなどの機能が使用できなくなります。

4) 認証トラップ使用

指定したプライベートコミュニティ以外からSNMPにより本機にアクセスがあった場合に、SNMPトラップを送信するかを選択します。

5) 警告トラップ使用

警告状況が発生したときに、SNMPトラップを送信するかを選択します。

6) トラップ送信先 1~10

SNMPトラップを送信するIPアドレスを入力します。アドレスは10か所まで指定することができます。

7) IPトラップコミュニティ

IPトラップ用のトラップコミュニティ名を入力します。

8) IPXトラップアドレス

IPXトラップを送信するIPXアドレスを入力します。

コピー設定をセットアップする

管理者は「セットアップ」メニューの「コピー」サブメニューから、コピー設定をセットアップすることができます。この設定では、コピー操作に適用される設定を行います。

注意

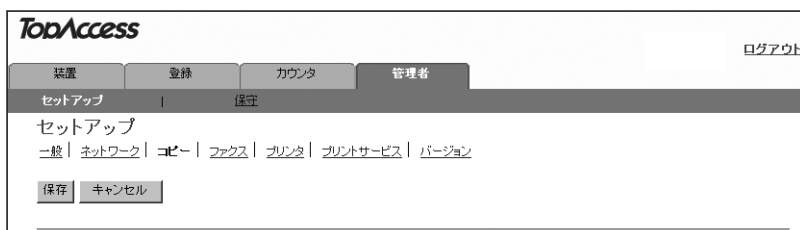
設定を変更しても、設定した内容がすぐに本体の液晶画面に反映されないことがあります。設定を変更した場合は、操作パネルの[リセット]ボタンを押すか、オートクリアされると反映されます。

コピー設定のセットアップ手順

1 TopAccessの管理者モードを起動します。

📖 P.48 「TopAccessを起動する」

2 「セットアップ」メニューをクリックし、「コピー」サブメニューをクリックします。



コピーサブメニューページが表示されます。

3 必要に応じて、コピー設定をセットアップします。



このページでは、以下の設定を行うことができます：

📖 P.100 「コピー設定」

4 [保存]をクリックします。

保存の確認ダイアログボックスが表示されます。

注 意

設定を保存する前に[キャンセル]をクリックすると、設定を保存せずに現在の設定状態に戻ります。[キャンセル]をクリックしても、工場出荷時の設定に戻すことはできません。[キャンセル]ボタンは、設定を保存する前に、変更した設定をクリアしてすべて現在の設定状態に戻したい場合に、クリックします。

5 [OK]をクリックし、変更を適用します。



注 意

Internet Explorerをお使いの場合、[保存]をクリックして設定の変更を保存した後も、画面上に表示された設定の値が更新されないことがあります。設定は正常に適用されています。この場合、サブメニューをクリックして画面を更新すると、現在の設定状態で各項目の値が表示されます。

コピー設定

コピー設定では、本体の液晶画面から行うコピー操作に適用する標準のコピー設定をセットアップします。

注 意

本体側の設定により、表示されなくなるコピー設定項目があります。



1) 用紙/倍率優先選択

自動用紙選択を優先するか自動倍率選択を優先するかを選択します。

- **自動用紙選択(APS):** 原稿サイズを自動的に検知し、検知したサイズに一致する用紙がセットされたカセットを自動的に選択します。
- **自動倍率選択(AMS):** スキャンしたオリジナルデータが選択したカセットの用紙サイズに収まるように、自動的に倍率を変更します。
- **優先選択なし:** 優先選択機能を無効にします。

2) 原稿モード

モノクロ原稿に適用する原稿モードを選択します。

3) 濃度調整

モノクロイメージの濃度を選択します。

- **自動**: 標準のモノクロ濃度モードに自動モードを適用します。自動モードでは、原稿の濃度を自動的に検知して最適な濃度でコピーします。
- **手動**: 手動で7段階の濃度を選択します。

4) ブック両面

ブック原稿を両面コピーする際に適用する標準のページ配列を選択します。

- **左開き**: 左ページから読む配列でブック原稿をコピーします。
- **右開き**: 右ページから読む配列でブック原稿をコピーします。

5) マガジンソート

マガジンソートコピーに適用する標準のページ配列を選択します。

- **左開き**: 左ページから読む配列で冊子を作成します。
- **右開き**: 右ページから読む配列で冊子を作成します。

6) 2in1/4in1

2in1/4in1コピーに適用するページ配列を選択します。

- **横書き**: 2ページまたは4ページを左から右、または上から下の配列でコピーします。縦向き原稿のときは、本機は左から右にコピーします。横向き原稿の場合は、上から下にコピーします。
- **縦書き**: 2ページまたは4ページを右から左、上から下の配列でコピーします。縦向き原稿のときは、本機は右から左にコピーします。横向き原稿の場合は、上から下にコピーします。

7) ソートモード

コピーを実行する際に適用するソートモードを選択します。

ファクス設定をセットアップする

管理者は「セットアップ」メニューの「ファクス」サブメニューのページから、ファクス設定をセットアップすることができます。この設定では、ファクス装置に関する設定とファクス操作に適用される設定を行います。

注意

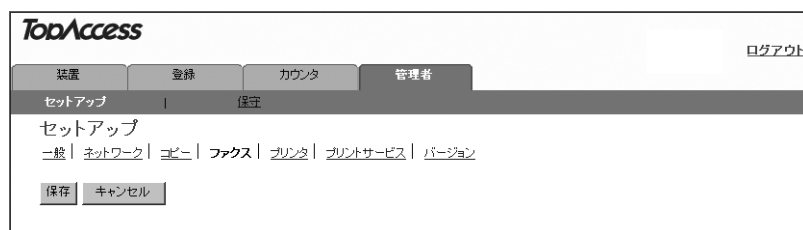
- 設定を変更しても、設定した内容がすぐに本体の液晶画面に反映されないことがあります。設定を変更した場合は、操作パネルの[リセット]ボタンを押すか、オートクリアされると反映されます。
- この「ファクス」サブメニューのページは、本機にオプションのファクスユニットを装着している場合にのみ利用できます。

ファクス設定のセットアップ手順

1 TopAccessの管理者モードを起動します。

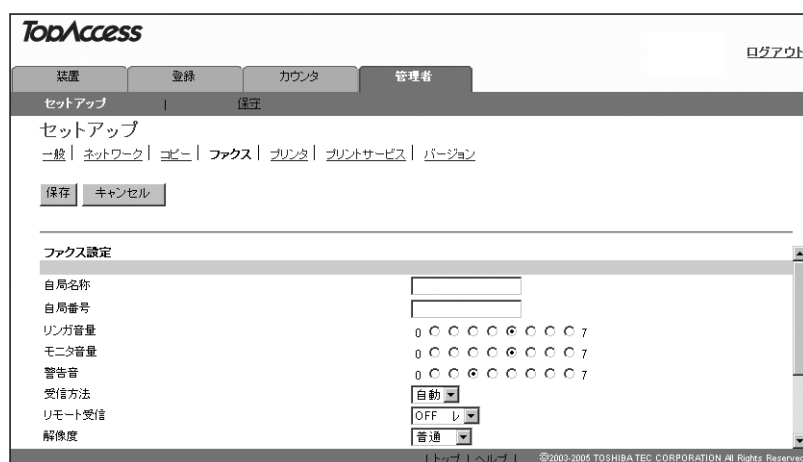
📖 P.48「TopAccessを起動する」

2 「セットアップ」メニューをクリックし、「ファクス」サブメニューをクリックします。



ファクスサブメニューページが表示されます。

3 必要に応じて、ファクス設定をセットアップします。



このページでは、以下の設定を行うことができます：

📖 P.104「ファクス設定」

4 [保存]をクリックします。

保存の確認ダイアログボックスが表示されます。

注 意

設定を保存する前に[キャンセル]をクリックすると、設定を保存せずに現在の設定状態に戻ります。[キャンセル]をクリックしても、工場出荷時の設定に戻すことはできません。[キャンセル]ボタンは、設定を保存する前に、変更した設定をクリアしてすべて現在の設定状態に戻したい場合に、クリックします。

5 [OK]をクリックし、変更を適用します。



注 意

- リダイヤルの間隔および回数両方に有効な値が設定されていない場合は、有効な値を入れてくださいとのエラーメッセージが表示されます。[OK]をクリックしてダイアログボックスを閉じてから、有効な値を設定してください。
- Internet Explorerをお使いの場合、[保存]をクリックして設定の変更を保存した後も、画面上に表示された設定の値が更新されないことがあります。設定は正常に適用されています。この場合、サブメニューをクリックして画面を更新すると、現在の設定状態で各項目の値が表示されます。

ファクス設定

ファクス設定では、本体の液晶画面から行うファクス操作に適用する標準のファクス設定をセットアップします。

注 意

本体側の設定により、表示されなくなるファクス設定項目があります。

ファクス設定	
1	自局名称
2	自局番号
3	リンガ音量
4	モニタ音量
5	警告音
6	受信方法
7	リモート受信
8	解像度
9	受信間隔
10	リダイヤル
11	メモリ送信
12	送信セキュリティ
13	発信元記録
14	受信元記録
15	ECM
16	切り捨て印刷
17	縮小印刷
18	復活送信
19	メモリ入力後送信
20	メモリフルの時
21	アカウントコード
22	セパレートページ
23	メモリ代行受信
24	限定受信
25	通信管理記録自動印刷
26	原稿送信結果表
27	メモリ送信結果表
28	同報送信結果表
29	マルチポーリング結果表
30	中継親局結果表
31	中継子局結果表
32	中継孫局結果表
33	自局メールボックス
34	他局メールボックス
35	中継子局受付表

1) 自局名称

本機を識別するターミナルID(会社名)を入力します。この名称は、本機から送信されるすべての文書の先頭に印字されます。

2) 自局番号

本機のファクス番号を入力します。このファクス番号は、本機の回線1から送信されるすべての文書の先頭に印字されます。

3) リンガ音量

呼び出し音量を選択します。

4) モニタ音量

送信中の回線モニタ音量を選択します

5) 警告音

警告音の音量を選択します。

6) 受信方法

ファクス受信時に本機をどのように動作させるかを選択します。

- **自動**: 呼び出し時に、着信原稿を自動的に受信します。回線がファクス通信専用に使われている場合は、このオプションを選択します。
- **手動**: 操作パネルのスタートキーを押すことによって、着信原稿の受信を開始します。
- **TEL/FAX**: 受信したときに電話かファクスかを自動的に検知します。電話としても使用されている回線に本機を接続する場合は、このオプションを選択します。
- **FAX/留守録**: 受信したときに電話かファクスかを自動的に検知します。留守番電話としても使用されている回線に本機を接続する場合は、このオプションを選択します。

7) リモート受信

外付け電話を使ってファクスのリモート受信する場合の操作方法を選択します。

- **OFF**: リモート受信機能を無効にします。
- **ダイヤル**: 受話器をとって通話した後、ダイヤル操作で受信を開始します。
- **簡易xx秒**: 受話器をとった後、指定時間内に受話器を元に戻すと受信を開始します。

8) 解像度

ファクスを送信する際に適用する標準の解像度を選択します。

- **普通**: 標準の解像度に標準モードを適用します。このモードは、普通サイズの文字で構成されたテキスト原稿をひんぱんに送信する場合に適しています。
- **精細**: 標準の解像度に精細モードを適用します。このモードは、細かい文字や細かな線画を含む原稿を送信する場合に適しています。
- **高精細**: 標準の解像度に高精細モードを適用します。このモードは、特に細かい文字や精密な線画を含む原稿を送信する場合に適しています。

9) 受信間隔

送信を4回行うごとに強制的に送信動作を停止し、設定した時間、受信を受け付けます。この時間(0~15分)を設定します。

10) リダイヤル

相手の回線があいていないときにリダイヤルする間隔と回数を設定します。

- **リダイヤル間隔**: リダイヤルする間隔(0~15分)を設定します。
- **リダイヤル回数**: リダイヤルする回数(0~14)を設定します。

11) メモリ送信

原稿をいったんメモリに蓄積してから送信するかを選択します。

12) 送信セキュリティ

ダイヤルした電話番号と相手から送られてくる電話番号情報をチェックし、交換機の誤接続や誤った相手先をダイヤルしたときなど、電話番号が一致しないときは原稿を送信しないようにする機能です。この機能を有効にするか無効にするかを選択します。

13) 発信元記録

送信者を識別する送信ヘッダ(TTI)を受信ファクスに印刷するかを選択します。

14) 受信元記録

受信した時刻、日付、ページ数を確認する受信ヘッダ(RTI)を受信ファクスに印刷するかを選択します。

15) ECM

文書が電話回線のノイズや歪みなどにより影響を受けた部分があるときに、自動的に再送するECM(Error Correction Mode:自動誤り訂正モード)を有効にするかを選択します。

16) 切り捨て印刷

記録紙より大きなファクス原稿を受信したときに、受信したファクス原稿の下部分を切り捨てるかを選択します。

17) 縮小印刷

記録紙の印刷可能範囲より大きなファクス原稿を受信したときに、受信したファクス原稿を縮小するかを選択します。

18) 復活送信

初期値で指定されているリダイヤル回数に失敗した後、メモリ内に保持した原稿を操作パネルで操作して送信することができます。このオプションを有効にした場合は、1～24時間の範囲でデータを保持する時間を選択します。

19) メモリ入力後送信

すべての原稿をいったんメモリに蓄積した後に送信するかを選択します。

- **メモリ入力同時送信**:メモリに蓄積せずに送信します。
- **メモリ入力後送信**:メモリに蓄積後に送信します。

「メモリ入力後送信」を選択した場合は、メモリフル発生時に、メモリフルになるまでのページを送信するかをさらに選択します。

20) メモリフルの時

メモリフル時の送信方法を選択します。

- **送信中止**:蓄積したページを破棄し、送信を中止します。
- **読み取り原稿を送信**:メモリフルになるまでのページを送信します。

21) アカウントコード

通信ごとにアカウントコードの入力を可能にするかを選択します。この機能を有効にすることにより、どの宛先にどれだけのファクスを通信したかが通信管理記録から分かります。

22) セパレータページ

1つの宛先から受信した原稿を印字した後、セパレータページを自動的に印刷するかを選択します。この機能を有効にすると、受信した原稿の選別がしやすくなります。

23) メモリ代行受信

受信中に記録紙がなくなったり、記録紙づまりなどの記録系に障害が発生して受信内容を記録紙に記録できない場合、代行してメモリに受信するかを選択します。

24) 限定受信

短縮ダイヤルまたはワンタッチダイヤルに登録されている相手からのみ受信するかを選択します。

25) 通信管理記録自動印刷

通信を完了したごとに、送信ジャーナルや受信ジャーナルを自動的に印刷するかを選択します。

26) 原稿送信結果表

どのように原稿送信結果表を印刷するかを選択します。

- **OFF**:送信結果表を印刷しません。
- **常時印刷**:送信完了ごとに送信結果表を印刷します。
- **エラー時のみ印刷**:送信に失敗した場合にのみ送信結果表を印刷します。

27) メモリ送信結果表

メモリ送信を実行した後に、どのように結果レポートを印刷するかを選択します。

- **OFF**:メモリ送信レポートを印刷しません。
- **常時印刷**:メモリ送信を完了したごとにメモリ送信レポートを印刷します。
- **エラー時のみ印刷**:メモリ送信に失敗した場合にのみメモリ送信レポートを印刷します。
- **常時印刷(原稿付加)**:メモリ送信を完了したごとに、原稿の最初のページを添付したメモリ送信レポートを印刷します。
- **エラー時のみ印刷(原稿付加)**:メモリ送信に失敗した場合にのみ、最初のページのイメージを添付したメモリ送信レポートを印刷します。

28) 同報送信結果表

同報送信を実行した後に、どのように結果レポートを印刷するかを選択します。

- **OFF**:同報送信レポートを印刷しません。
- **常時印刷**:同報送信を完了したごとに同報送信レポートを印刷します。
- **エラー時のみ印刷**:同報送信に失敗した場合にのみ同報送信レポートを印刷します。
- **常時印刷(原稿付加)**:同報送信を完了したごとに、最初のページのイメージを添付した同報送信レポートを印刷します。
- **エラー時のみ印刷(原稿付加)**:同報送信に失敗した場合にのみ、最初のページのイメージを添付した同報送信レポートを印刷します。

29) マルチポーリング結果表

ポーリング受信を実行した後に、どのように結果レポートを印刷するかを選択します。

- **OFF**:ポーリングレポートを印刷しません。
- **常時印刷**:ポーリング受信を完了したごとに、ポーリングレポートを印刷します。
- **エラー時のみ印刷**:ポーリング受信に失敗した場合にのみ、ポーリングレポートを印刷します。

30) 中継親局結果表

中継送信を実行した後に、どのように結果レポートを印刷するかを選択します。

- **OFF**:中継局レポートを印刷しません。
- **常時印刷**:中継送信を完了したごとに中継局レポートを印刷します。
- **エラー時のみ印刷**:中継送信に失敗した場合にのみ中継局レポートを印刷します。
- **常時印刷(原稿付加)**:中継送信を完了したごとに、最初のページのイメージを添付した中継局レポートを印刷します。
- **エラー時のみ印刷(原稿付加)**:中継送信に失敗した場合にのみ、最初のページのイメージを添付した中継局レポートを印刷します。

31) 中継子局結果表

どのように中継子局結果表を印刷するかを選択します。

- **OFF**:中継子局結果表を印刷しません。
- **常時印刷**:送信完了ごとに中継子局結果表を印刷します。
- **エラー時のみ印刷**:送信に失敗した場合にのみ中継子局結果表を印刷します。
- **常時印刷(原稿付加)**:送信を完了ごとに、原稿の最初のページを添付した中継子局結果表を印刷します。
- **エラー時のみ印刷(原稿付加)**:送信に失敗した場合のみ、最初のページを添付した中継子局結果表を印刷します。

32) 中継孫局結果表

どのように中継孫局結果表を印刷するかを選択します。

- **OFF**: 中継孫局結果表を印刷しません。
- **常時印刷**: 送信完了ごとに中継孫局結果表を印刷します。
- **エラー時のみ印刷**: 送信に失敗した場合にのみ中継孫局結果表を印刷します。
- **常時印刷(原稿付加)**: 送信を完了ごとに、原稿の最初のページを添付した中継孫局結果表を印刷します。
- **エラー時のみ印刷(原稿付加)**: 送信に失敗した場合のみ、最初のページを添付した中継孫局結果表を印刷します。

33) 自局メールボックス

通信ごとの自局メールボックス内容をリストにして自動出力するかを選択します。

34) 他局メールボックス

通信ごとの他局メールボックス内容をリストにして自動出力するかを選択します。

35) 中継子局受付表

通信ごとの受付内容をリストにして自動出力するかを選択します。

プリンタ設定をセットアップする

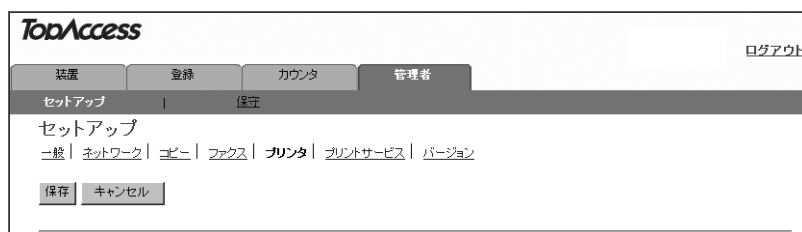
管理者は、「セットアップ」メニューの「プリンタ」サブメニューのページで、プリンタの動作方法とRaw印刷ジョブに適用するプリンタオプションを設定することができます。

プリンタ設定をセットアップする手順

1 TopAccessの管理者モードを起動します。

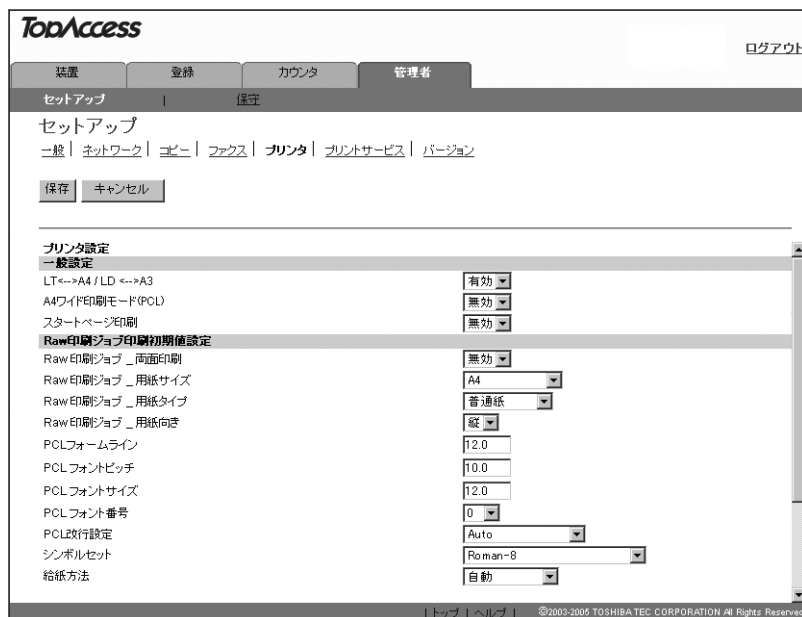
📖 P.48 「TopAccessを起動する」

2 「セットアップ」メニューをクリックし、「プリンタ」サブメニューをクリックします。



プリンタサブメニューページが表示されます。

3 必要に応じて、プリンタ設定をセットアップします。



このページでは、以下の設定を行うことができます：

📖 P.110 「一般設定」

📖 P.111 「Raw印刷ジョブ印刷初期値設定」

📖 P.112 「Raw印刷ジョブ設定」

4 [保存]をクリックします。

保存の確認ダイアログボックスが表示されます。

注 意

設定を保存する前に[キャンセル]をクリックすると、設定を保存せずに現在の設定状態に戻ります。[キャンセル]をクリックしても、工場出荷時の設定に戻すことはできません。[キャンセル]ボタンは、設定を保存する前に、変更した設定をクリアしてすべて現在の設定状態に戻したい場合に、クリックします。

5 [OK]をクリックし、変更を適用します。



注 意

Internet Explorerをお使いの場合、[保存]をクリックして設定の変更を保存した後も、画面上に表示された設定の値が更新されないことがあります。設定は正常に適用されています。この場合、サブメニューをクリックして画面を更新すると、現在の設定状態で各項目の値が表示されます。

一般設定

プリンタ関連の機能を設定します。

一般設定		
1	LT<-->A4 / LD <-->A3	有効 ▼
2	A4ワイド印刷モード(PCL)	無効 ▼
3	スタートページ印刷	無効 ▼

1) LT<-->A4/LD<-->A3

印刷ジョブに設定された用紙サイズがセットされていない場合に、自動的に異なる用紙に印刷するかを選択します。有効を選択した場合、たとえば、レターサイズに設定された印刷ジョブをA4用紙に印刷することができます。無効を選択した場合は、印刷ジョブに設定されているサイズと同じサイズの用紙をカセットにセットするようメッセージが表示されます。

2) A4ワイド印刷モード(PCL)

PCLの印刷ジョブをA4用紙に印刷する場合、印刷範囲の横幅を広くするかを選択します。[有効]を選択した場合、用紙向きが縦で約3.5 mm、横で約1.5 mm印刷範囲の横幅が広がり、1行あたりに印刷される内容を増やすことができます。

3) スタートページ印刷

本機の電源投入後に、スタートアップページ(ネットワーク設定リスト)を印刷するかを選択します。スタートアップページには、本機NICの現在の設定状況が印刷されます。

Raw印刷ジョブ印刷初期値設定

LPRキューが指定されていないRaw印刷ジョブ、または指定したLPRキューが存在しないRaw印刷ジョブに適用される印刷設定を設定します。

補 足

Raw印刷ジョブの設定は、LPRキューを追加してLPRキューごとに設定することもできます。

📖 P.112 「Raw印刷ジョブ設定」

Raw印刷ジョブ印刷初期値設定	
1 Raw印刷ジョブ__両面印刷	無効
2 Raw印刷ジョブ__用紙サイズ	A4
3 Raw印刷ジョブ__用紙タイプ	普通紙
4 Raw印刷ジョブ__用紙向き	縦
5 PCLフォームライン	12.0
6 PCLフォントピッチ	10.0
7 PCLフォントサイズ	12.0
8 PCLフォント番号	0
9 PCL改行設定	Auto
10 シンボルセット	Roman-8
11 給紙方法	自動

1) Raw印刷ジョブ__両面印刷

Raw印刷ジョブを両面印刷するかを選択します。

注 意

「Raw印刷ジョブ__両面印刷」は、自動両面ユニット(オプション)を装着している場合にのみ有効となります。

2) Raw印刷ジョブ__用紙サイズ

Raw印刷ジョブに適用する標準的用紙サイズを選択します。

3) Raw印刷ジョブ__用紙タイプ

Raw印刷ジョブに適用する標準的用紙の種類を選択します。

4) Raw印刷ジョブ__用紙向き

Raw印刷ジョブに適用する標準の印刷の向きを選択します。

5) PCLフォームライン

各ページに印刷する行数を入力します。

6) PCLフォントピッチ

選択したフォント番号が固定ピッチフォントである場合に、フォントピッチを入力します。文字ピッチは1インチ当たりのANK文字の数で計算されます。10ピッチタイプは、1インチにANK文字を10文字印刷します。

7) PCLフォントサイズ

選択したフォント番号がプロポーショナルフォントである場合に、フォントサイズを入力します。フォントサイズオプションでは、標準フォントのポイントサイズ(高さ)を決定することができます。

8) PCLフォント番号

印刷を行う際に、標準フォントとして使用する内蔵PCLフォントのフォント番号を入力します。フォント番号および内蔵PCLフォントは、内蔵PCLフォントリストで確認することができます。フォント番号および内蔵PCLフォントについては、**印刷ガイド**を参照してください。

9) PCL改行設定

改行設定を選択します。

10) シンボルセット

Raw印刷ジョブに適用するシンボルセットを選択します。

11) 給紙方法

Raw印刷ジョブに適用する給紙方法を選択します。

Raw印刷ジョブ設定

最大16個のLPRキューを作成し、各キューごとにRaw印刷ジョブ設定を指定することができます。これらのキューは、UNIXコンピュータから印刷する場合など、プリンタドライバを使用せずに印刷する場合に使用します。Raw印刷ジョブでは、LPRキューの追加、変更、削除を行います。

📖 P.112 「LPRキューを追加または変更する」

📖 P.114 「LPRキューを削除する」

LPRキューを追加または変更する

1 LPRキューを追加する場合は、[追加]をクリックします。

既存のLPRキューの設定を変更する場合は、一覧で設定を変更したいLPRキューのラジオボタンを選択し、[編集]をクリックします。

RAW印刷ジョブ設定

追加編集削除

	キューネーム	両面印刷	用紙サイズ	用紙タイプ	用紙向き	PCL フォームライン	PCL フォントピッチ	PCL フォントサイズ	PCL フォント番号	PCL改行設定	シンボルセット	給紙方法
<input type="radio"/>	queue1	無効	A4	普通紙	縦	12.0	10.0	12.0	0	Auto	Roman-8	自動
<input type="radio"/>	queue2	有効	A4	普通紙	横	12.0	10.0	12.0	0	Auto	Roman-8	自動
<input type="radio"/>	queue3	無効	A4	厚紙1	縦	12.0	10.0	12.0	0	Auto	Roman-8	自動

新しいLPRキューの追加ページが表示されます。

2 以下の項目を設定します。

編集

保存 キャンセル

キューネーム	queue1
両面印刷	無効
用紙サイズ	A4
用紙タイプ	普通紙
用紙向き	縦
PCLフォームライン	12.0
PCLフォントピッチ	10.0
PCLフォントサイズ	12.0
PCLフォント番号	0
PCL改行設定	Auto
シンボルセット	Roman-8
給紙方法	自動

キュー名:キュー名を、31文字以下の半角英数字で入力します。キュー名は、大文字・小文字を認識するため、「Queue1」と「queue1」など、大文字・小文字が異なるキュー名も異なるLPRキューとして追加することができます。

Raw印刷ジョブ__両面印刷:Raw印刷ジョブを両面印刷するかを選択します。

Raw印刷ジョブ__用紙サイズ:Raw印刷ジョブに適用する標準的用紙サイズを選択します。

Raw印刷ジョブ__用紙タイプ:Raw印刷ジョブに適用する標準的用紙の種類を選択します。

Raw印刷ジョブ__用紙向き:Raw印刷ジョブに適用する標準の印刷の向きを選択します。

PCLフォームライン:各ページに印刷する行数を入力します。

PCLフォントピッチ:選択したフォント番号が固定ピッチフォントである場合に、フォントピッチを入力します。文字ピッチは1インチ当たりのANK文字の数で計算されます。10ピッチタイプは、1インチにANK文字を10文字印刷します。

PCLフォントサイズ:選択したフォント番号がプロポーショナルフォントである場合に、フォントサイズを入力します。フォントサイズオプションでは、標準フォントのポイントサイズ(高さ)を決定することができます。

PCLフォント番号:印刷を行う際に、標準フォントとして使用する内蔵PCLフォントのフォント番号を入力します。フォント番号および内蔵PCLフォントは、内蔵PCLフォントリストで確認することができます。フォント番号および内蔵PCLフォントについては、印刷ガイドを参照してください。

PCL改行設定:改行設定を選択します。

シンボルセット:Raw印刷ジョブに適用するシンボルセットを選択します。

給紙方法:Raw印刷ジョブに適用する給紙方法を選択します。

3 [保存]をクリックします。

キュー名が一覧に追加されます。

LPRキューを削除する

- 1 一覧で削除したいLPRキューのラジオボタンを選択し、[削除]をクリックします。

RAW印刷ジョブ設定

追加 編集 削除

	キューネーム	両面印刷	用紙サイズ	用紙タイプ	用紙向き	PCL フォントライン	PCL フォントピッチ	PCL フォントサイズ	PCL フォント番号	PCL 改行設定	シンボルセット	給紙方法
<input checked="" type="radio"/>	queue1	無効	A4	普通紙	縦	12.0	10.0	12.0	0	Auto	Roman-8	自動
<input type="radio"/>	queue2	有効	A4	普通紙	横	12.0	10.0	12.0	0	Auto	Roman-8	自動
<input type="radio"/>	queue3	無効	A4	厚紙1	縦	12.0	10.0	12.0	0	Auto	Roman-8	自動

確認ダイアログボックスが表示されます。

- 2 [OK]をクリックします。



選択したLPRキューが削除されます。

プリントサービス設定をセットアップする(プリンタ機能)

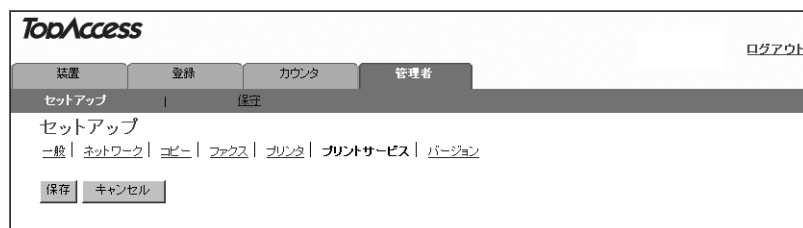
管理者は「セットアップ」メニューの「プリントサービス」サブメニューから、Raw TCP印刷、LPD印刷、IPP印刷やNetWare印刷などの印刷サービスを設定します。

注 意

設定を変更しても、設定した内容がすぐに本体の液晶画面に反映されないことがあります。設定を変更した場合は、操作パネルの[リセット]ボタンを押すか、オートクリアされると反映されます。

プリントサービス設定をセットアップする手順

- 1 TopAccessの管理者モードを起動します。
📖 P.48「TopAccessを起動する」
- 2 「セットアップ」メニューをクリックし、「プリントサービス」サブメニューをクリックします。



プリントサービスサブメニューページが表示されます。

3 必要に応じて、プリントサービス設定をセットアップします。

このページでは、以下の設定を行うことができます：

- 📖 P.117 「Raw TCP印刷の設定」
- 📖 P.117 「LPD印刷の設定」
- 📖 P.118 「IPP印刷の設定」
- 📖 P.119 「NetWare印刷の設定」

4 [保存]をクリックします。

保存の確認ダイアログボックスが表示されます。

注 意

設定を保存する前に[キャンセル]をクリックすると、設定を保存せずに現在の設定状態に戻ります。[キャンセル]をクリックしても、工場出荷時の設定に戻すことはできません。[キャンセル]ボタンは、設定を保存する前に、変更した設定をクリアしてすべて現在の設定状態に戻したい場合に、クリックします。

5 [OK]をクリックし、変更を適用します。



注 意

Internet Explorerをお使いの場合、[保存]をクリックして設定の変更を保存した後も、画面上に表示された設定の値が更新されないことがあります。設定は正常に適用されています。この場合、サブメニューをクリックして画面を更新すると、現在の設定状態で各項目の値が表示されます。

Raw TCP印刷の設定

Raw TCP印刷では、Raw TCP印刷サービスを有効／無効およびRaw TCP印刷用のLPDポート番号を設定します。

Raw TCP印刷		
1	Raw TCP印刷使用	有効
2	ポート番号	9100
3	Raw bi-directional使用	無効

1) Raw TCP印刷使用

Raw TCP印刷サービスの有効／無効を選択します。

2) ポート番号

Raw TCP印刷に使用するポート番号を入力します。通常、「9100」を使用します。

3) Raw bi-directional使用

Raw双方向通信の有効／無効を選択します。

LPD印刷の設定

ユーザにLPR印刷を許可する場合は、LPD印刷を設定しLPD/LPR印刷サービスを有効にする必要があります。

LPD印刷		
1	LPD印刷使用	有効
2	ポート番号	515
3	LPDバナー	OFF

1) LPD印刷使用

LPD印刷サービスの有効／無効を選択します。

2) ポート番号

LPR印刷に使用するポート番号を入力します。通常、「515」を使用します。

3) LPDバナー

LPD印刷で印刷するジョブごとにバナーページ(ヘッダページ)を印刷するかを選択します。

注 意

MacintoshコンピュータからLPR印刷を行った場合は、バナーページの代わりにPostScriptコードが印刷されてしまいます。MacintoshコンピュータからLPR印刷を行う場合は、LPDバナーは無効に設定してください。

IPP印刷の設定

ユーザにIPP印刷を許可する場合は、IPP印刷を設定しIPP印刷サービスを有効にする必要があります。

IPP印刷	
1 IPP印刷使用	<input type="checkbox"/> 有効
2 IPPポート80使用	<input type="checkbox"/> 有効
3 ポート番号	631
4 URL	http://10.151.137.78:631/Print
5 管理者名	admin
6 管理者パスワード	*****
7 認証	<input type="checkbox"/> 無効
8 ユーザ名	user
9 パスワード	*****

1) IPP印刷使用

IPP印刷サービスの有効／無効を選択します。

2) IPPポート80使用

IPP印刷にポート80を有効にするかを選択します。通常、ポート631がIPPアクセスに使用されるので、各ユーザはURLにIPPポートを指定する必要があります(例: http://<IPアドレスまたはDNS名>:631/Print)。このオプションを有効にすると、HTTPアクセスの標準ポートであるポート80を介してのIPPアクセスが許可され、IPPポートのポート番号を指定する必要がなくなります(例: http://<IPアドレスまたはDNS名>/Print)。

3) ポート番号

IPP印刷に使用するポート番号を入力します。通常、「631」を使用します。

4) URL

IPP印刷用のURLが表示されます。IPP印刷用のURLを変更することはできません。ユーザはプリンタドライバでIPP印刷をセットアップする際に、このURLを印刷ポートとして設定します。

5) 管理者名

IPPキューにある印刷ジョブの一括削除を許可するユーザ名を入力します。

ここに設定されたユーザ名およびパスワードでログインしたWindowsコンピュータから、プリンタをダブルクリックして表示されるキューダイアログの[ファイル]－[すべてのドキュメントの取り消し]を選択すると、キュー内にあるすべてのジョブを削除することができます。

6) 管理者パスワード

IPPキューにある印刷ジョブの一括削除を許可するパスワードを入力します。

7) 認証

コンピュータにキューを作成する際に認証を行うかどうかを設定します。認証を有効にすると、IPP印刷ポートの作成時にユーザ名とパスワードの要求を行います。

無効: 認証を無効にします。

Basic: 認証を有効にします。

注 意

認証を有効にする場合は、「Basic」を選択してください。「Digest」または「Basic Digest」を選択すると、Windowsコンピュータによりサポートされていないため、IPP印刷ポートを作成することができなくなります。

8) ユーザ名

認証に使用するユーザ名を入力します。

9) パスワード

認証に使用するパスワードを入力します。工場出荷時の設定では「123456」に設定されています。

NetWare印刷の設定

ユーザにNovell印刷を許可する場合は、NetWare印刷を設定しNovell印刷サービスを有効にする必要があります。

NetWare印刷	
1 NetWareログイン名	MFP_00013995
2 パスワード	
3 印刷キューポーリングレート	5

1) NetWareログイン名

NetWareファイルサーバーに作成したプリントサーバー名を入力します。

2) パスワード

必要に応じて、プリントサーバーに設定されたパスワードを入力します。

3) 印刷キューポーリングレート

プリントキューをどのくらいの頻度でスキャンするかを設定します。1から255の範囲で、秒単位で指定します。

バージョン情報を表示する

管理者は「セットアップ」メニューの「バージョン」サブメニューから、本機のシステムソフトウェアのバージョン情報を表示することができます。

- 1 TopAccessの管理者モードを起動します。
- 2 「セットアップ」メニューをクリックし、「バージョン」サブメニューをクリックします。



バージョンサブメニューページが表示されます。

- 3 バージョンサブメニューページでは本機のバージョン情報を確認することができます。



11

TopAccessの管理者タブページ- 保守メニュー

本章では、TopAccessの管理者が行う、TopAccessの保守機能について説明します。

保守機能について	122
言語を切り替える	123
データをバックアップする	125
バックアップファイルからデータを復元する	128
アドレス帳をインポートする	131
アドレス帳をエクスポートする	134
部門コードをエクスポートする	139

保守機能について

TopAccessの管理者モードの「保守」メニューでは、以下の保守作業を行うことができます。

- 言語を切り替える
管理者は、TopAccessに表示される言語を変更することができます。
📖 P.123「言語を切り替える」
- データをバックアップする
管理者は本機のアドレス帳データのバックアップファイルを作成することができます。
📖 P.125「データをバックアップする」
- バックアップファイルからデータを復元する
管理者は本機のバックアップファイルからアドレス帳データを復元することができます。
📖 P.128「バックアップファイルからデータを復元する」
- アドレス帳のデータをインポートする
CSV形式のアドレス帳データをインポートすることができます。
📖 P.131「アドレス帳をインポートする」
- アドレス帳のデータをエクスポートする
アドレス帳データを、CSV形式でエクスポートすることができます。
📖 P.134「アドレス帳をエクスポートする」
- 部門コードデータをエクスポートする
部門コードデータを、CSV形式でエクスポートすることができます。
📖 P.139「部門コードをエクスポートする」

注 意

本機のアドレス帳データをバックアップ、復元またはインポート／エクスポートする場合は、データの大きさによってデータが更新されるまでに数分かかることがあります。データ更新を確認するまでは、本機の電源を切らないでください。

言語を切り替える

Client Utilities CD-ROMに収録されているTopAccess用の言語を本機にアップロードすることにより、現在使用している言語を目的の言語に切り替えることができます。

注意

スキャナアップグレードキット(オプション)を装着している場合は、**設定ガイド[スキャン編]**を参照し、Scan Utilities CD-ROM(スキャナアップグレードキット付属)に収録されているTopAccess言語データをアップロードして、TopAccessの言語を切り替えてください。本書記載のClient Utilities CD-ROM(ネットワークプリンタユニット付属)にもTopAccess言語データが収録されていますが、このデータはスキャン機能に対応していません。

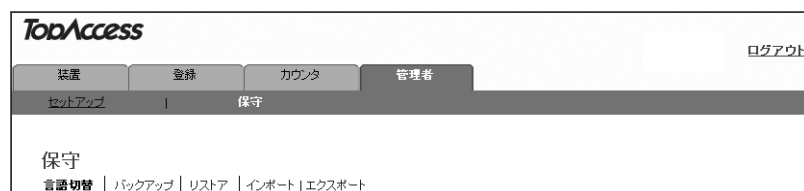
1 Client Utilities CD-ROMをクライアントコンピュータに挿入します。

Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にインストーラが起動することがあります。この場合は、表示された画面の[キャンセル]をクリックしてインストーラを終了します。

2 TopAccessの管理者モードを起動します。

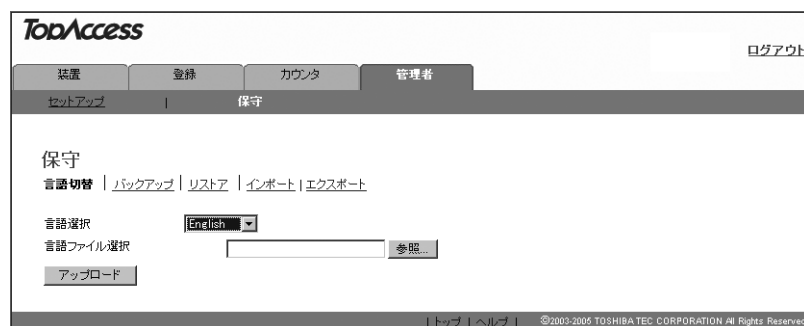
📖 P.48「TopAccessを起動する」

3 「保守」メニューをクリックし、「言語切替」サブメニューをクリックします。

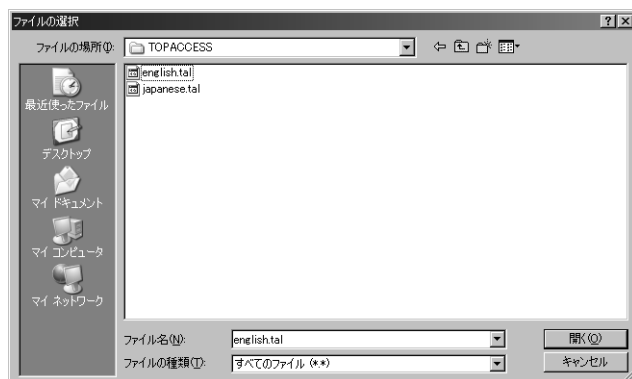


言語切替サブメニューページが表示されます。

4 「言語選択」ドロップダウンメニューから目的の言語を選択します。



5 [参照]をクリックしてClient Utilities CD-ROMのTOPACCESSフォルダを選択します。次に、目的の言語ファイルを選択してから[開く]をクリックします。



TopAccess用言語:

[Client Utilities CD-ROM]: ¥TOPACCESS¥<Language>

注意

ドロップダウンメニューで選択した言語とClient Utilities CD-ROMから選択した言語が不一致である場合は、エラーメッセージが表示されます。[OK] をクリック後、両者を正しく選択し直してください。



6 [アップロード]をクリックします。



アップロードが始まります。完了すると、言語が切り替わり、「管理者ログイン」ページが表示されます。

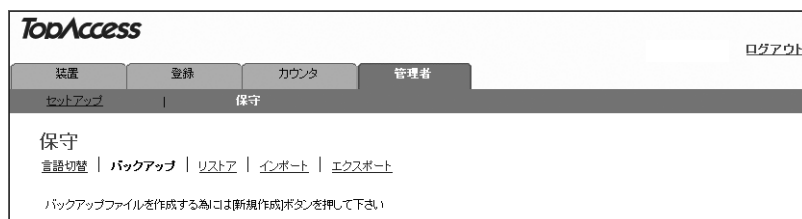
データをバックアップする

管理者は本機のアドレス帳データのバックアップファイルを作成することができます。作成したバックアップファイルは、データを復元するときや、他のe-STUDIO165/205またはe-STUDIO167/207互換装置に転送するときに使用することができます。

1 TopAccessの管理者モードを起動します。

📖 P.48「TopAccessを起動する」

2 「保守」メニューをクリックし、「バックアップ」サブメニューをクリックします。



バックアップサブメニューページが表示されます。

3 バックアップファイルを作成するデータの[新規作成]をクリックします。



「バックアップまたは、リストアが実行されています。」が画面に表示され、バックアップが始まります。

4 右端の[更新]アイコンをクリックします。



バックアップファイルが作成され、バックアップファイル名およびファイルサイズが表示されます。

注 意

[更新]アイコンをクリックしても画面が変わらない場合は、しばらく待ってから再度クリックしてください。データのサイズによってはバックアップファイルが作成されるまでに時間がかかる場合があります。

5 ファイル名リンクを右クリックし、[対象をファイルに保存]を選択します。



「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されます。

6 保存先を指定し、「ファイルの種類」ドロップダウンメニューで「すべてのファイル」を選択します。



注意

バックアップファイルのファイル名は変更しないことをお勧めします。以下のファイル名以外の名前に変更すると、バックアップファイルからデータを復元できなくなります。

- アドレス帳: BACKUP_ADDR<日付>.tbif

7 [保存]をクリックします。

選択した保存先にバックアップファイルが保存されます。

注意

本機の電源を切ると、本機のエクスポートファイルは失われます。

バックアップファイルからデータを復元する

管理者はバックアップファイルを使って、本機のアドレス帳を復元することができます。この機能は、バックアップファイルからデータを復元しシステムを同じ環境に戻すときに使用します。

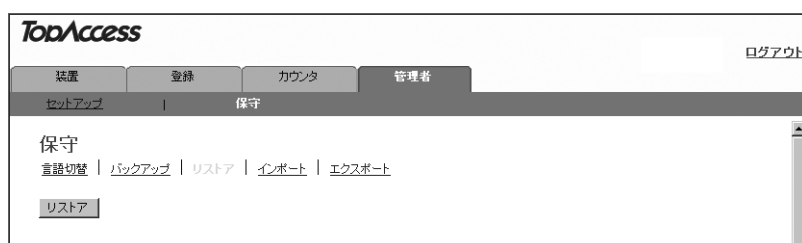
注 意

バックアップファイルからデータを復元する前に、現在処理中のジョブがないことを確認してください。現在処理中のジョブがある場合、バックアップファイルからデータを復元することができません。

1 TopAccessの管理者モードを起動します。

📖 P.48 「TopAccessを起動する」

2 「保守」メニューをクリックし、「リストア」サブメニューをクリックします。



リストアサブメニューページが表示されます。

3 アドレス帳の[参照]をクリックします。



「ファイルの選択」ダイアログボックスが表示されます。

4 バックアップファイルを選択し、[開く]をクリックします。



注 意

バックアップファイルが以下の名前で保存されていない場合は、データを復元することはできません。

- アドレス帳: BACKUP_ADDR<日付>.tbf

5 [アップロード]をクリックします。



選択したバックアップファイルの情報がリスト画面に表示されます。

6 アドレス帳のチェックボックスをチェックし、[リストア]をクリックします。



「バックアップまたは、リストアが実行されています。」が画面に表示され、リストアが始まります。

7 右端の[更新]アイコンをクリックします。



アドレス帳データが本機にリストアされます。

注 意

[更新]アイコンをクリックしても画面が変わらない場合は、しばらく待ってから再度クリックしてください。データのサイズによってはリストアが終了するまで時間がかかる場合があります。

アドレス帳をインポートする

CSV形式のアドレス帳データをインポートします。取り込むファイルは、TopAccessのアドレス帳データのフォーマットに準じたカンマ区切りのCSV形式で作成されている必要があります。アドレス帳データは以下のフォーマットで作成します。

```
"NAME","Email Address","Tel Number","ABB_ID","OT_ID","Search Letter"
"Use01","user01@toshibatec-ifax.com","0000000000001","1","1","A"
"Use02","user02@toshibatec-ifax.com","0000000000002","","2","B"
"Use03","user03@toshibatec-ifax.com","0000000000003","2","","A"
```

アドレス帳データの各項目は、以下の項目としてTopAccessにインポートされます。

アドレス帳データの項目名	TopAccessの項目名	最大文字数など
NAME	局名 ("Name")	半角20文字、全角10文字
Email Address	インポートされません	-
Tel Number	電話番号 ("Fax Number")	半角128文字 (数字および、*,#,-)
ABB_ID	短縮番号 ("ABB. Number")	半角3文字 (001～999の範囲の数字)
OT_ID	ワンタッチ番号 ("One Touch Number")	半角2文字 (1～75の範囲の数字)
Search Letter	検索文字 ("Search Letter")	半角1文字 (英字大文字、数字、記号、カタカナ)

- NAMEとTel Numberは、必ず入力してください。NAMEとTel Numberに入力されていないユーザデータは、インポートされません。
- 最大文字数を超えた文字はインポートされません。
- ABB_IDとOT_IDは、どちらか一方を必ず入力してください。
- ABB_IDは最大300件、OT_IDは最大75件インポートできます。
- ABB_IDの数字が重複していた場合は、最初にその数字が使われていたユーザのみインポートされます。OT_IDも同様となります。
- Search Letterに使用できる文字については、**取扱説明書【ファクス編】**を参照してください。

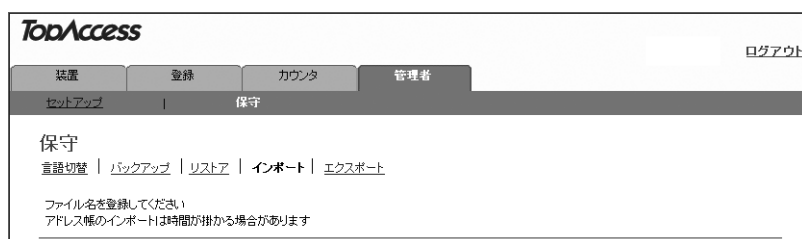
注 意

操作の前に、本機の状態が下記条件に該当することを確認してください。該当しない条件がある
と、アドレス帳データをインポートすることはできません。

- コピーモードやプリンタモードなど、いずれかの操作モードのメイン画面が表示されている。(この状態から節電モードに移行している場合でも可。)
- 処理中または予約中のジョブがない。

1 TopAccessの管理者モードを起動します。

📖 P.48「TopAccessを起動する」

2 「保守」メニューをクリックし、「インポート」サブメニューをクリックします。

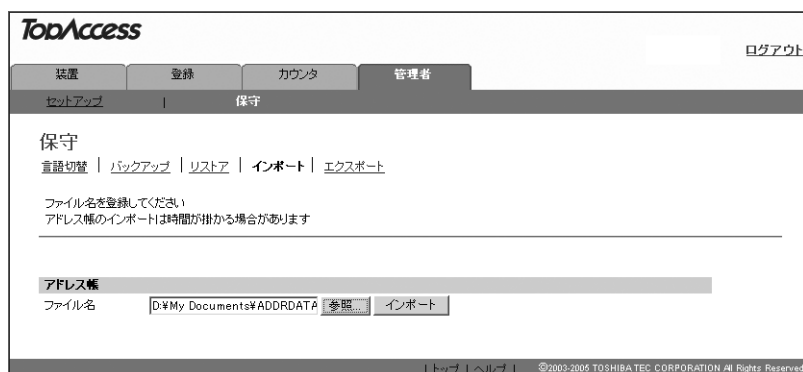
インポートサブメニューページが表示されます。

3 アドレス帳エリアの[参照]をクリックします。

「ファイルの選択」ダイアログボックスが表示されます。

4 目的のアドレス帳のデータを含むCSVファイルを選択し、[開く]をクリックします。

5 [インポート]をクリックします。



「バックアップまたは、リストアが実行されています。」が画面に表示され、インポートが始まります。

6 右端の[更新]アイコンをクリックします。



データが本機のアドレス帳にインポートされます。

注 意

[更新]アイコンをクリックしても画面が変わらない場合は、しばらく待ってから再度クリックしてください。データのサイズによってはインポートが終了するまで時間がかかる場合があります。

アドレス帳をエクスポートする

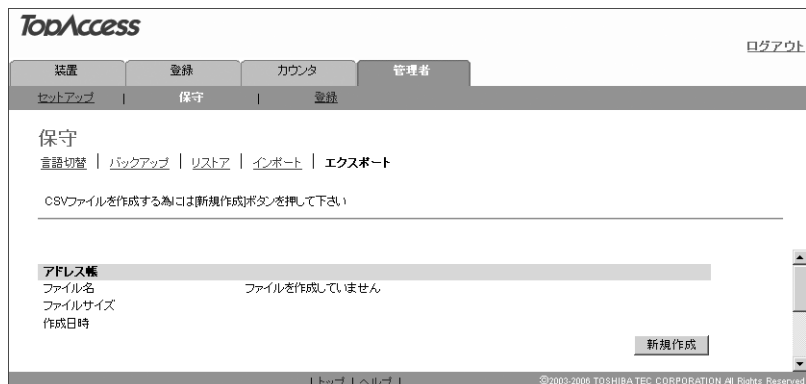
CSV形式のアドレス帳データをエクスポートします。アドレス帳データのフォーマットと項目については、以下のページを参照してください。

📖 P.131「アドレス帳をインポートする」

1 TopAccessの管理者モードを起動します。

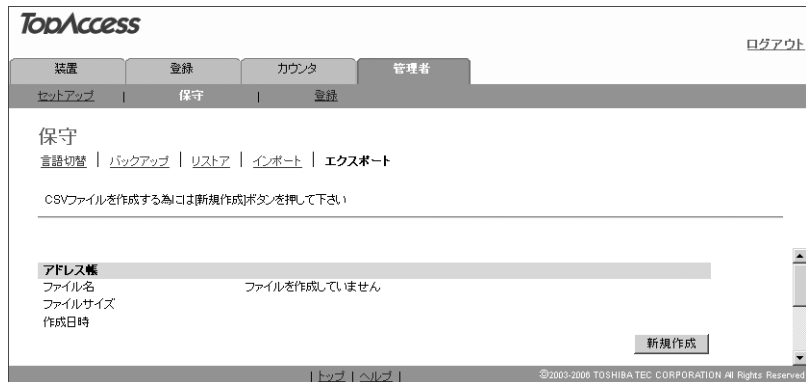
📖 P.48「TopAccessを起動する」

2 「保守」メニューをクリックし、「エクスポート」サブメニューをクリックします。



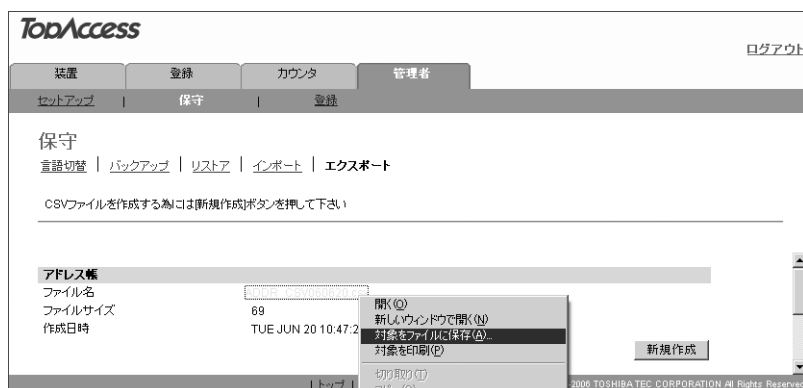
エクスポートサブメニューページが表示されます。

3 アドレス帳エリアの[新規作成]をクリックします。



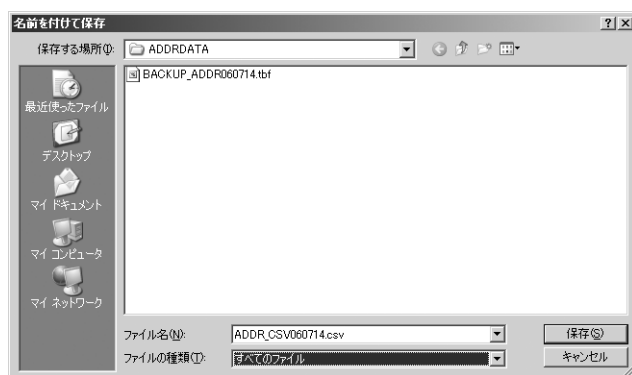
エクスポートファイル情報が表示されます。

4 ファイル名のリンクを右クリックし、[対象をファイルに保存]を選択します。



「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されます。

5 ファイルの保存先を選択し、「ファイルの種類」ドロップダウンメニューで「すべてのファイル」を選択します。



6 [保存]をクリックします。

CSV形式のアドレス帳データファイルが、選択した場所に保存されます。

注 意

本機の電源を切ると、本機のエクスポートファイルは失われます。

部門コードデータをインポートする

事前にエクスポートしてあるCSV形式の部門コードデータをインポートします。

注意

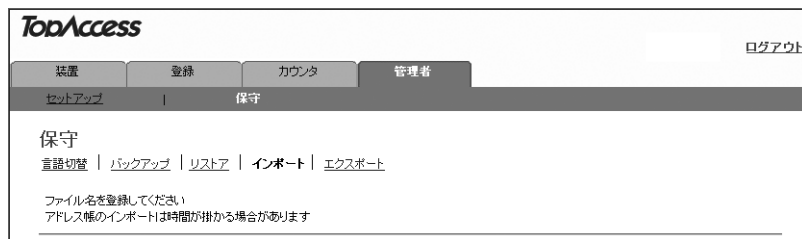
操作の前に、本機の状態が下記条件に該当することを確認してください。該当しない条件がある
と、部門コードデータをインポートすることはできません。

- 部門管理機能が有効になっている。
- 部門コード入力画面が表示されている。(この状態から節電モードに移行している場合でも可。)
- 処理中または予約中のジョブがない。

1 TopAccessの管理者モードを起動します。

📖 P.48「TopAccessを起動する」

2 「保守」メニューをクリックし、「インポート」サブメニューをクリックします。



インポートサブメニューページが表示されます。

3 部門コードエリアの[参照]をクリックします。



「ファイルの選択」ダイアログボックスが表示されます。

4 事前にエクスポートしてある部門コードデータのCSVファイルを選択し、[開く]をクリックします。



5 [インポート]をクリックします。



「バックアップまたは、リストアが実行されています。」が画面に表示され、インポートが始まります。

6 右端の[更新]アイコンをクリックします。



部門コードデータが本機へインポートされます。

注 意

[更新]アイコンをクリックしても画面が変わらない場合は、しばらく待ってから再度クリックしてください。データのサイズによってはインポートが終了するまで時間がかかる場合があります。

部門コードをエクスポートする

CSV形式の部門コードデータをエクスポートします。

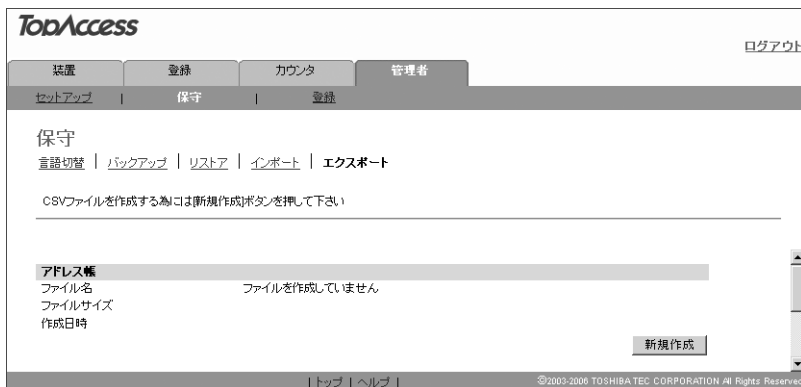
注意

- 操作の前に、本機の部門管理機能が有効になっていることを確認してください。無効になっていると、部門コードデータをエクスポートすることはできません。
- この機能の目的は、万一の障害発生時に備えて部門コードデータをバックアップすることです。エクスポートしたデータは、そのままインポート時に必要ですので、編集したり紛失したりすることがないように注意してください。

1 TopAccessの管理者モードを起動します。

📖 P.48「TopAccessを起動する」

2 「保守」メニューをクリックし、「エクスポート」サブメニューをクリックします。



エクスポートサブメニューページが表示されます。

3 部門情報のエクスポートエリアの[新規作成]をクリックします。



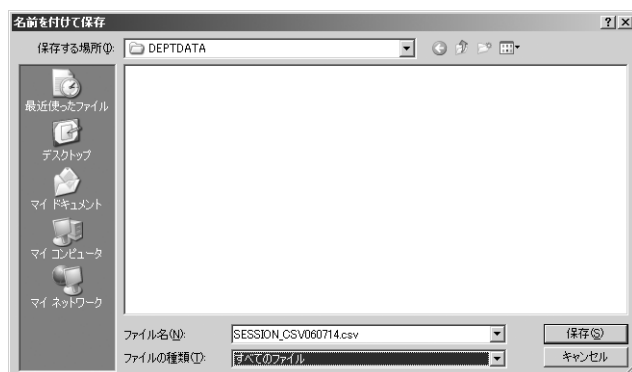
部門コードファイル情報が表示されます。

4 ファイル名のリンクを右クリックし、[対象をファイルに保存]を選択します。



「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されます。

5 ファイルの保存先を選択し、「ファイルの種類」ドロップダウンメニューで「すべてのファイル」を選択します。



6 [保存]をクリックします。

CSV形式の部門コードデータファイルが、選択した場所に保存されます。

注意

本機の電源を切ると、本機のエクスポートファイルは失われます。

12

TopAccessによる部門コード管理 (管理者用)

本章では、管理者が行う、部門管理について説明します。

部門コードを管理する(管理者用)	142
-------------------------------	------------

部門コードを管理する(管理者用)

「カウンタ」タブにある部門管理のメニューページから、管理者はマスタコードを入力することにより、カウンタ情報を含む全部門のリストを表示することができます。

注 意

部門表示は、本機で部門管理機能が有効になっている場合のみ可能です。

補 足

部門コードの新規登録および削除は本機の操作パネルから行います。本機の部門コード設定については、**取扱説明書【コピー編】**を参照してください。

- 1 「カウンタ」タブをクリックし、「部門管理」メニューをクリックします。
部門管理メニューページが表示されます。
- 2 「部門コード」フィールドにマスタコードを入力し、[設定]をクリックします。

TopAccess

装置 登録 カウンタ 管理者

トータルカウンタ | 部門管理

部門管理

部門ごとのカウンターを見るには部門コードを入力して下さい。

部門コード

トップ ヘルプ ©2003-2006 TOSHIBA TEC CORPORATION All Rights Reserved.

- 3 カウンタ情報を含む部門リストが表示されます。

TopAccess

装置 登録 カウンタ 管理者 ログアウト

トータルカウンタ | 部門管理

部門管理

部門ごとのカウンターを見るには部門コードを入力して下さい。

部門コード

番号	部門名称	部門コード	コピー	プリンタ	ファクス送信	ファクス受信
1		11111	0	0	0	0
22		22222	0	0	0	0
33		33333	0	0	0	0

[このページの先頭へ](#)

トップ ヘルプ ©2003-2006 TOSHIBA TEC CORPORATION All Rights Reserved.

補 足

この画面で部門コードを入力することにより、目的の部門コードの情報のみを表示することができます。

トラブルシューティング

本章では、TopAccessにおいて発生する確率が最も高いエラーについて説明します。また、それらエラーの対処方法についても説明します。ここで述べられている措置を行ってもエラーを解除できない場合は、どのような操作を行っていたのか、エラーメッセージが表示されているかなどをご確認のうえ、サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。

TopAccessのエラーメッセージ.....	144
アイコン一覧.....	144
メッセージ一覧.....	146

TopAccessのエラーメッセージ

アイコン一覧

注意

エラーが発生すると、TopAccessの「装置」タブページにエラーアイコンが表示されます。詳細については以下のページを参照してください。

📖 P.56 「TopAccessの装置タブページ」

- プリンタエラー



このアイコンは下記の場合に表示されます。

- トレイから用紙を取り除く必要がある場合
- 推奨トナーを使用していない場合(エラーの解除方法については、**取扱説明書【コピー編】**の「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。)

- カバーオープン



カバーを閉じる必要がある場合に表示されます。印刷を再開するために閉じてください。

- トナー切れ



トナーの交換が必要な場合に表示されます。

エラーの解除方法については、**取扱説明書【コピー編】**の「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。

- 用紙切れ



カセットを閉じる必要がある場合、またはカセットの用紙が切れている場合に表示します。(用紙切れを起こしても、印刷ジョブを終了する必要はありません。自動選択オプションを選択している場合は、別のカセットから用紙を給紙し印刷、コピーを続行します。)エラーの解除方法については、**取扱説明書【コピー編】**の「画面にメッセージが表示される」を参照してください。

用紙切れ発生時、本体の操作により現在の印刷ジョブをキャンセルすることもできます。印刷ジョブのキャンセル方法は、以下を参照してください。

📖 P.22 「印刷ジョブをキャンセルするには」

- 用紙つまり



本機のどこで用紙つまりが発生したかにより表示が異なります。用紙つまりが発生したと考えられる場所が図示されます。エラーの解除方法については、**取扱説明書【コピー編】**の「紙が詰まったときは」を参照してください。

-
- サービスコール



サービスコールを必要とするエラーが発生したことを示します。サービスエンジニアまたは弊社販売店へ連絡してください。

メッセージ一覧

TopAccessの装置タブページの「警告」欄にエラーメッセージが表示されます。

詳細については、以下のページを参照してください。

📖 P.56 「TopAccessの装置タブページ」

TopAccessメッセージ	対処方法
フロントカバーが開いています - カバーを閉じて下さい。	フロントカバーを閉じてください。
給紙カバーが開いています - カバーを閉じて下さい。	給紙カバーを閉じてください。
転写／搬送ユニットが開いています - カバーを閉じて下さい。	転写／搬送ユニットを閉じてください。
自動両面ユニットのカバーが開いています - カバーを閉じて下さい。	自動両面ユニットのカバーを閉じてください。
給紙所で紙詰まりです - 用紙を取除いて下さい。	用紙を取り除いてください。
プリンタ内で紙詰まりです - 用紙を取除いて下さい。	用紙を取り除いてください。
排紙所で紙詰まりです - 用紙を取除いて下さい。	用紙を取り除いてください。
自動両面ユニットで紙詰まりです - 用紙を取除いて下さい。	用紙を取り除いてください。
ブラクトナーが空です - トナーを補給して下さい。	取扱説明書【コピー編】を参照し、トナーを交換してください。
自動両面原稿送り装置異常です - サービスエンジニアに連絡して下さい。	サービスエンジニアまたは弊社販売店へ連絡してください。
自動両面原稿送り装置のアライメント異常です - サービスエンジニアに連絡して下さい。	サービスエンジニアまたは弊社販売店へ連絡してください。
自動両面原稿送り装置のモータ異常です - サービスエンジニアに連絡して下さい。	サービスエンジニアまたは弊社販売店へ連絡してください。
自動両面原稿送り装置のIF異常です - サービスエンジニアに連絡して下さい。	サービスエンジニアまたは弊社販売店へ連絡してください。
プリンタエラーです - サービスエンジニアに連絡して下さい。	サービスエンジニアまたは弊社販売店へ連絡してください。
プリンタ給紙異常です - サービスエンジニアに連絡して下さい。	サービスエンジニアまたは弊社販売店へ連絡してください。
プリンタ排紙異常です - サービスエンジニアに連絡して下さい。	サービスエンジニアまたは弊社販売店へ連絡してください。

付録

リスト印刷.....	148
------------	-----

リスト印刷

設定リストの出力例

```

CONFIGURATION PAGE
S/N           : XXXXXXXXXX          TIME           : '07-04-10 09:30
F/W Ver.      : XXXXXXXXXX

GENERAL
MEMORY SIZE           : 256MB
OPTIONAL FUNCTIONAL KIT : NOT INSTALLED

NETWORK SETTING
GENERAL PRODUCT
GENERAL
ETHERNET SPEED/DUPLEX MODE : 10BASE FULL

NETWORK
TCP/IP
ADDRESS MODE           : DYNAMIC
IP ADDRESS             : XXX.XXX.XXX.XXX
SUBNET MASK            : XXX.XXX.XXX.XXX
DEFAULT GATEWAY        : 0. 0. 0. 0

IPX/SPX
ENABLE IPX/SPX         : ENABLE
FRAME TYPE            : AUTO SENSE

APPLE TALK
ENABLE APPLE TALK      : DISABLE
DEVICE NAME           : XXXXXXXXXXXX
DESIRED ZONE           : *

SESSION
DNS SESSION
ENABLE DNS             : ENABLE
PRIMARY DNS SERVER ADDRESS : 0. 0. 0. 0
SECONDARY DNS SERVER ADDRESS : 0. 0. 0. 0

DDNS SESSION
ENABLE DDNS           : ENABLE
HOST NAME             : XXXXXXXXXXXX
DOMAIN NAME           :

NETWARE SESSION
ENABLE BINDERY        : ENABLE
ENABLE NDS            : ENABLE
CONTEXT              :
TREE                 :
SEARCH ROOT          :

BONJOUR SESSION
ENABLE BONJOUR

```

ネットワーク設定リストの出力例

```
=====
Unit   Serial No   : XXXXXXXX
Network Address   : XX;XX;XX;XX;XX;XX
Network Topology  : Ethernet           Connector: RJ45
Network Mode      : AUTO

Novell Network Information                                enabled
  Print Server Name      : XXXXXXXXXXXX
  Password Defined       :
  Search Root not defined
  Directory Services Tree not defined
  Directory Service Context not defined
  Scan Rate              : 5
  Frame Type             : Auto Sense

TCP/IP Network Information                                enabled
  IP Address             : XX.XXX.XXX.XX
  Subnet Mask            : XXX.XXX.X.X
  Default Gateway       : XX.XXX.XXX.X
  Primary DNS Server     : XXX.XX.XXX.XX
  DNS Name               :
  Host Name              : XXXXXXXXXXXX

IPP Network Information                                    enabled
  Internet Printing Protocol : XXXXXXXXXXXX

AppleTalk Network Information                              disabled

=====

Novell Connection Information
  Couldn't attach to server

AppleTalk Connection Information
  AppleTalk Printer Name: XXXXXXXXXXXX

Raw Socket Connection Information
  Port Number: 9100
```

PSフォントリストの出力例

TOSHIBA

e-STUDIO205

Internal PS Font List

Page:1

AlbertusMT-Light
AlbertusMT
AlbertusMT-Italic
AntiqueOlive-Roman
AntiqueOlive-Italic
AntiqueOlive-Bold
AntiqueOlive-Compact
Apple-Chancery
ArialMT
Arial-ItalicMT
Arial-BoldMT
Arial-BoldItalicMT
AvantGarde-Book
AvantGarde-BookOblique
AvantGarde-Demi
AvantGarde-DemiOblique
Bodoni
Bodoni-Italic
Bodoni-Bold
Bodoni-BoldItalic
Bodoni-Poster
Bodoni-PosterCompressed
Bookman-Light
Bookman-LightItalic
Bookman-Demi
Bookman-DemiItalic
Candid
Chicago
Clarendon-Light
Clarendon
Clarendon-Bold
CooperBlack
CooperBlack-Italic
Copperplate-ThirtyTwoBC
Copperplate-ThirtyThreeBC
Coronet-Regular
Courier
Courier-Oblique
Courier-Bold
Courier-BoldOblique
Eurostile
Eurostile-Bold
Eurostile-ExtendedTwo
Eurostile-BoldExtendedTwo
Geneva
Gillsans-Light
Gillsans-LightItalic
Gillsans

[illegible]

TOSHIBA

e-STUDIO205

Internal PCL Font List

Page:1

0	Courier	The quick brown fox jumps over the lazy dog
1	CG-Times	The quick brown fox jumps over the lazy dog
2	CG-Times Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog
3	CG-Times Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>
4	CG-Times Bold Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>
5	CG Omega	The quick brown fox jumps over the lazy dog
6	CG Omega Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog
7	CG Omega Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>
8	CG Omega Bold Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>
9	Coronet	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>
10	Clarendon Condensed	The quick brown fox jumps over the lazy dog
11	Univers Medium	The quick brown fox jumps over the lazy dog
12	Univers Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog
13	Univers Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>
14	Univers Bold Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>
15	Univers Medium Condensed	The quick brown fox jumps over the lazy dog
16	Univers Condensed Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog
17	Univers Medium Condensed Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>
18	Univers Condensed Bold Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>
19	Antique Olive	The quick brown fox jumps over the lazy dog
20	Antique Olive Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog
21	Antique Olive Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>
22	Garamond Antiqua	The quick brown fox jumps over the lazy dog
23	Garamond Halbfett	The quick brown fox jumps over the lazy dog
24	Garamond Kursiv	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>
25	Garamond Kursiv Halbfett	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>
26	Marigold	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>
27	Albertus Medium	The quick brown fox jumps over the lazy dog
28	Albertus Extra Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog
29	Arial	The quick brown fox jumps over the lazy dog
30	Arial Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog
31	Arial Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>
32	Arial Bold Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>
33	Times New Roman	The quick brown fox jumps over the lazy dog
34	Times New Roman Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog
35	Times New Roman Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>
36	Times New Roman Bold Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>
37	Helvetica	The quick brown fox jumps over the lazy dog
38	Helvetica-Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog
39	Helvetica-Oblique	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>
40	Helvetica-BoldOblique	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>
41	Helvetica-Narrow	The quick brown fox jumps over the lazy dog
42	Helvetica-Narrow-Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog
43	Helvetica-Narrow-Oblique	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>
44	Helvetica-Narrow-BoldOblique	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>
45	Palatino-Roman	The quick brown fox jumps over the lazy dog
46	Palatino-Bold	The quick brown fox jumps over the lazy dog
47	Palatino-Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>
	Palatino-BoldItalic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>

索引

数字

2in1/4in1 101

A

AppleTalk使用 93

AppleTalkゾーン 93

AppleTalkの設定 93

B

Bonjour使用 93

Bonjourの設定 93

D

DDNS使用 95

DDNSの設定 95

DNS使用 94

DNSの設定 94

E

ECM 106

F

Fコード設定 70, 71

H

HTTPサーバー使用 96

HTTPの設定 96

I

IPP印刷使用 118

IPP印刷の設定 118

IPPポート80使用 118

IPX/SPX使用 92

IPX/SPXの設定 92

IPXトラップアドレス 98

IPアドレス 92

IPアドレスの自動取得 33

IPアドレスの手動設定 35

IPトラップコミュニティ 98

IPフィルタリング 92

L

Link-Localホスト名 93

LPD印刷使用 117

LPD印刷の設定 117

LPDバナー 117

LT<-->A4/LD<-->A3 110

M

MFPモデル 56, 87

N

NDS使用 96

NetWare印刷の設定 119

NetWareの設定 96

NetWareログイン名 119

P

PCL/PSフォントリスト 23

PCL改行設定 112, 113

PCLフォームライン 111, 113

PCLフォントサイズ 111, 113

PCLフォント番号 112, 113

PCLフォントピッチ 111, 113

PWD 63

R

Raw bi-directional使用 117

Raw TCP印刷使用 117

Raw TCP印刷の設定 117

Raw印刷ジョブ印刷初期値設定 111

Raw印刷ジョブ設定 112

Raw印刷ジョブ__用紙サイズ 111, 113

Raw印刷ジョブ__用紙タイプ 111, 113

Raw印刷ジョブ__用紙向き 111, 113

Raw印刷ジョブ__両面印刷 111, 113

S

SEP 62

SNMP使用 97

SNMPの設定 97

SUB 62

T

TCP/IPの設定 91

TopAccessを起動する 48

TopAccess機能 46

TopAccessの画面構成 53

TopAccessの使用環境 14

U

URL 118

W

WEB設定 88

あ

アイコン一覧 144

アイコン表示欄 57

アカウントコード 106

宛先

削除する 64

追加、編集する 60

宛先設定 70

宛先設定(メールボックス) 72

アドレス設定方法 91

アドレス帳を管理する 60

い

一般設定 110

印刷キューパーリングレート 119

印刷ジョブをキャンセルするには 22

インターネットファクス／

ファクス(中継)エージェント 70

インターネットファクス／ ファクス(中継)箱属性	68
インポート	131, 136

え

エクスポート	134, 139
--------------	----------

お

オートクリア	88
オプション	57

か

海外指定	63
解像度	105
カウンタタブ	50
各種タイマの設定	88
カセット	56
紙サイズ	56

画面

エラーメッセージ表示画面	17
数値入力画面	17
メニュー選択画面	17
モードメイン画面	16
レディ画面	16
画面の基本操作	18
管理者タブ	50
管理者パスワード	87, 118
管理者名	118
管理者メッセージ	87
管理者モード	47

き

給紙方法	112
キュー名	113
給紙方法	113
局名	61
切り捨て印刷	106

く

グループ	
削除する	67
追加、編集する	65
グループ番号	66
グループ名称	66

け

警告	56
警告音	105
警告トラップ使用	98
警告欄	57
掲示板	70
掲示板メールボックス	68
ゲートウェイ	92
原稿送信結果表	63, 106
原稿モード	100
言語選択	123
言語を切り替える	123

現在のフレームタイプ	92
検索文字	61
限定受信	106

こ

更新アイコン	56
コピー設定	100

さ

サービスコンテキスト	96
サービスツリー	96
サービス電話番号	87
サービス名	93
サブネットマスク	92
サブメニューバー	54

し

自局番号	104
自局名称	104
自局メールボックス	108
自動オフ時間	88
自動節電時間	88
自動モニタ	63
自動両面ユニット	57
縮小印刷	106
受信間隔	105
受信方法	105
受信元記録	105
種別	66
状態	56
親展	70
親展メールボックス	68
シンボルセット	112, 113

す

スキャナアップグレードキット	57
スタートページ印刷	110

せ

セカンダリDNSサーバーアドレス	94
セカンダリポート番号	97
セッション確保時間	88
設置場所	56, 87
設定リスト	26
セットアップメニュー	52
セパレータページ	106

そ

送信セキュリティ	105
装置情報	56
装置情報の設定	87
装置タブ	50
装置タブページ	56
ソートモード	101

た

タイプ	56
-----------	----

タイムゾーン	88
他局メールボックス	108
短縮番号	61

ち

中継親局結果表	107
中継子局受付表	108
中継子局結果表	107
中継孫局結果表	108
中継孫局送信	70, 75

つ

通信管理記録自動印刷	106
------------------	-----

て

データをバックアップ	125
データを復元する	128
デバイス名	93
転送	70
転送メールボックス	68
電話番号	56, 61
電話番号2	61

と

同報送信結果表	107
登録タブ	50
トータルカウンタ	80
トータルカウンタを表示する	80
トップ	54
ドメイン名	96
トラップ送信先	98

に

日時指定送信	63
認証	118
認証トラップ使用	98

ね

ネットワーク設定リスト	27
ネットワーク設定(本体)	
AppleTalkの設定	40
ETHERNETの設定	31
HTTPの設定	42
IPX/SPXの設定	38
TCP/IPの設定	33
ネットワークプリンタキット	57

の

濃度調整	101
------------	-----

は

バージョン情報	120
バイナリサーバー使用	96
箱属性設定	70
箱番号	71
パスワード	71, 119
パスワードの確認	87

発信元記録	105
-------------	-----

ひ

日付と時間	88
日付と時間の設定	88

ふ

ファクスキット	57
ファクス設定	104
復活送信	106
ブック両面	101
部門カウンタ	81
部門カウンタを表示する	81
部門管理	142
プライマリDNSサーバーアドレス	94
プライマリポート番号	97
フレームタイプ	92

へ

ヘルプ	54
-----------	----

ほ

ポート番号	117, 118
保守	122
保守メニュー	52
ホスト名	95

ま

マガジンソート	101
マルチポーリング結果表	107

め

名称	56, 87
メールボックスを管理する	68
メッセージ	56
メッセージ一覧	146
メニューバー	54
メモリ送信	105
メモリ送信結果表	107
メモリ代行受信	106
メモリフルの時	106
メモリ入力後送信	106

も

モニタ音量	104
-------------	-----

ゆ

ユーザ名	119
ユーザモード	46
優先サーバー	96

よ

用紙/倍率優先選択	100
用紙サイズ	56
容量	56

り

リードコミュニティ	97
リードライトコミュニティ	98
リストア	128
リスト印刷	148
リダイヤル	105
リモート受信	105
リンガ音量	104

れ

連絡先	56, 87
-----------	--------

わ

ワンタッチ番号	61, 66
---------------	--------

東芝デジタル複合機
設定ガイド[印刷編]

GA-1190J

<開発・製造元>

東芝テック株式会社

<販売元>

東芝テックビジネスソリューション株式会社

